

(仮称) 蕨市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョンおよび総合戦略の策定にかかる 市民アンケート結果概要

《目次》

1. 結婚・出産・子育て等に関するアンケート・・・・・・・・・・1
2. 転入・転出や地域連携等に関するアンケート・・・・・・・・・・16
3. 就職・進学状況や定住意向等に関するアンケート・・・・・・・・・・29

平成 27 年 7 月

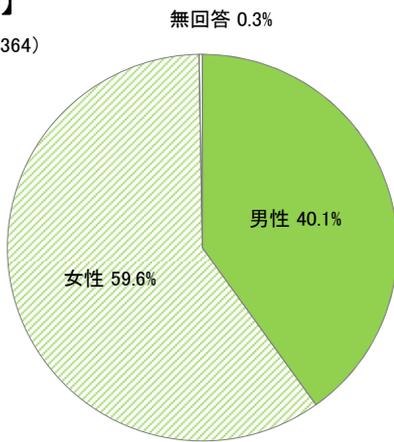
1. 結婚・出産・子育て等に関するアンケート

- ◆調査期間 平成 27 年 6 月
- ◆調査対象 18 歳から 49 歳までの市民 1,000 名
- ◆回収数（率） 365 票【有効票 364 票・白票 1 票】（36.5%）

1. あなたご自身について

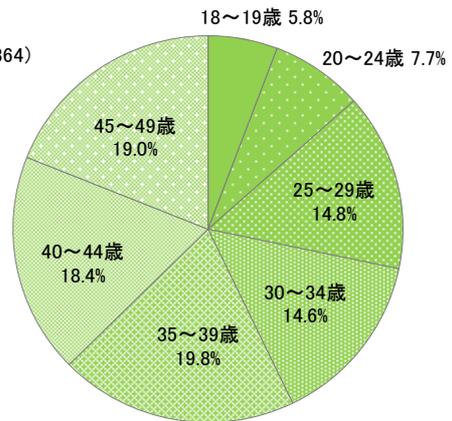
【性別】

(n=364)



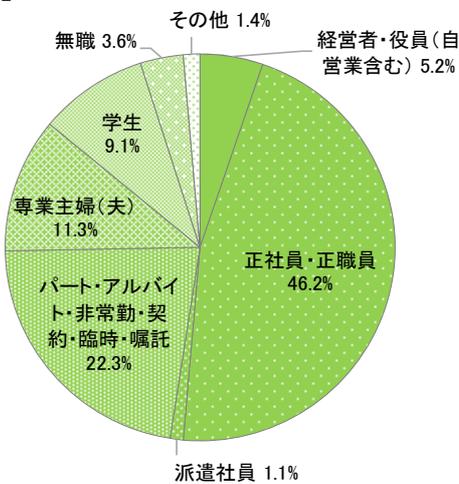
【年齢】

(n=364)



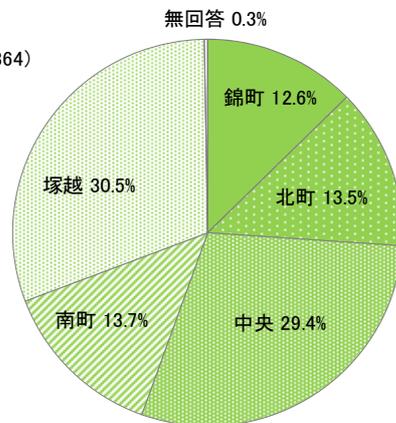
【職業】

(n=364)



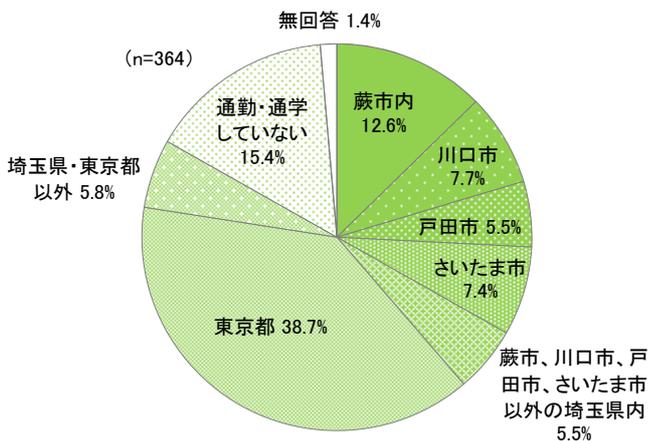
【居住地】

(n=364)



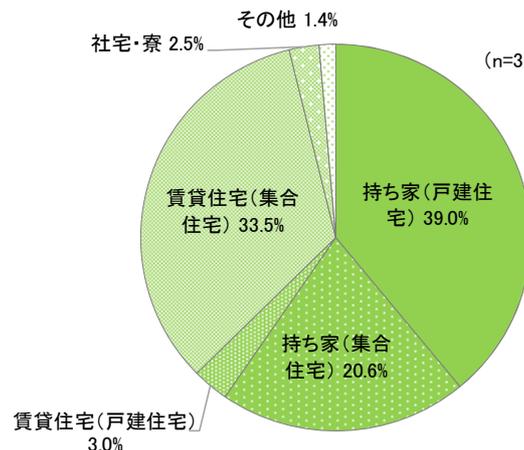
【通勤・通学地】

(n=364)



【住まい】

(n=364)



2. 結婚について

問1 現在、結婚している人は58.0%で、女性の方が結婚している割合が高い。30~34歳で半数を超え、35~39歳で70%を超える。

問2 今後の結婚意向のある人は75.5%で、女性の方が結婚意向のある割合が高い。

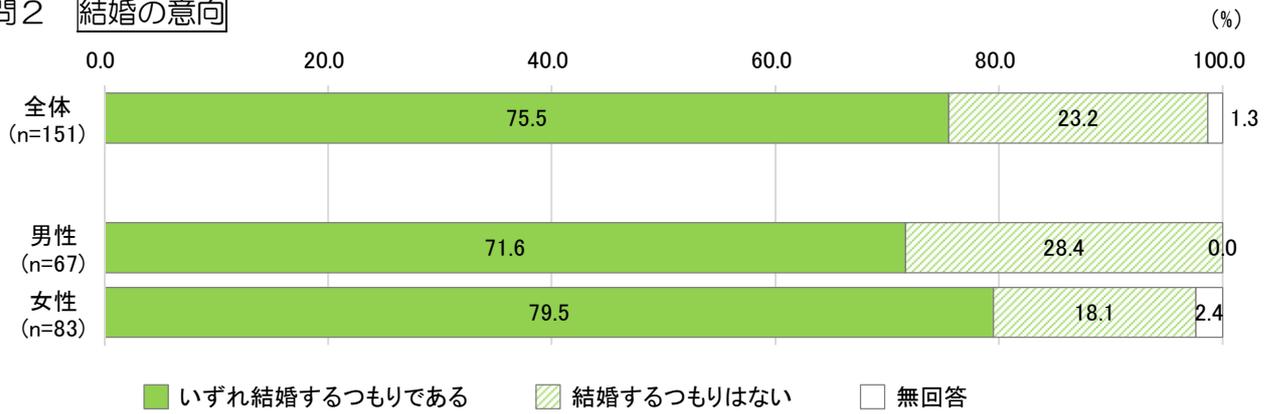
問3 結婚意向のある人のうち、女性の方が早めに結婚したいと考えている。

問4 結婚の条件として、男女ともに「安定した仕事に就けている」「出会いの場や機会がある」が上位で、女性は「結婚しても仕事や学業を続けられる」も上位。

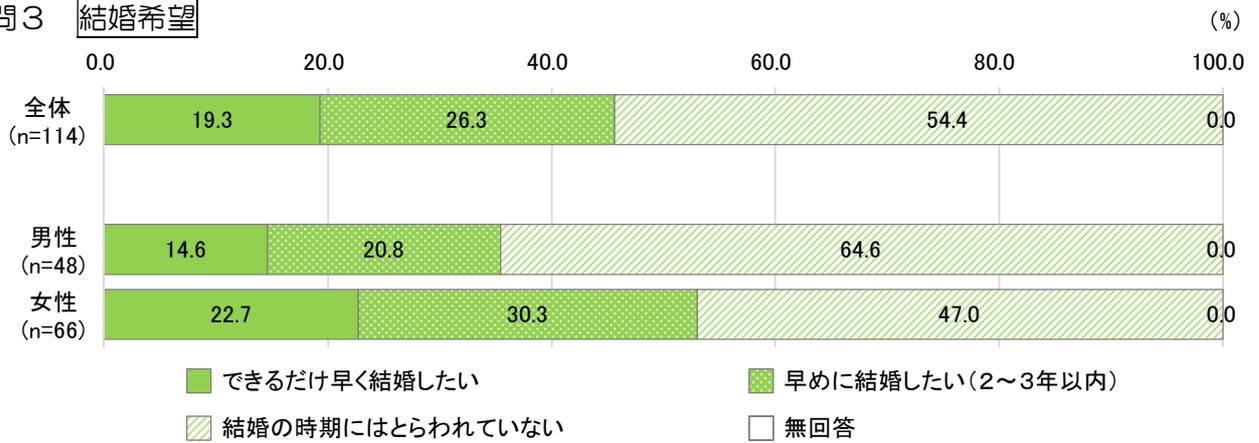
問1 結婚経験



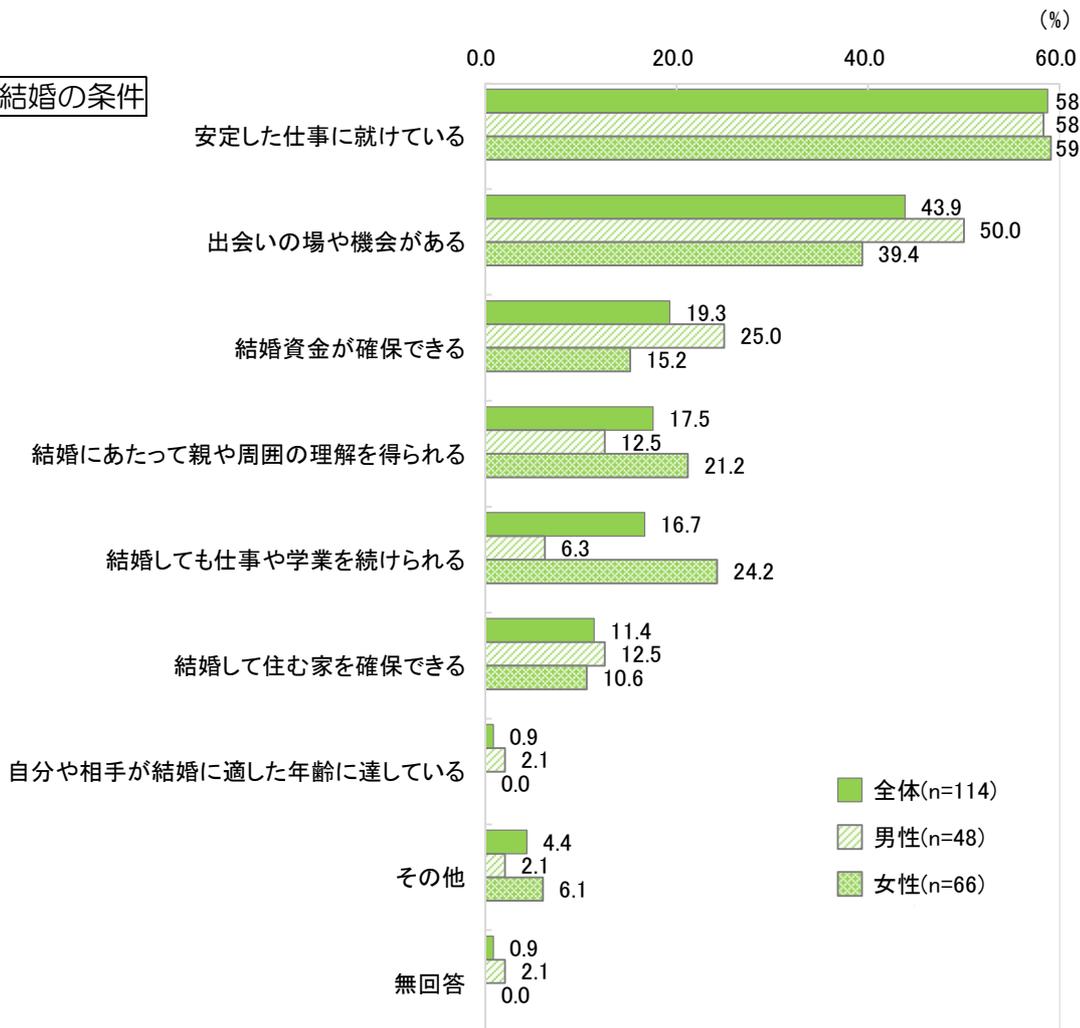
問2 結婚の意向



問3 結婚希望

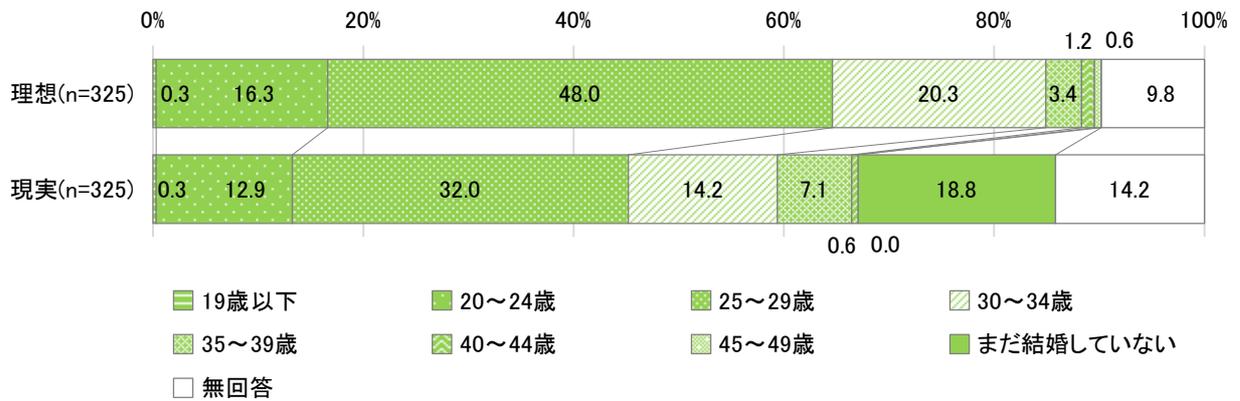


問4 結婚の条件

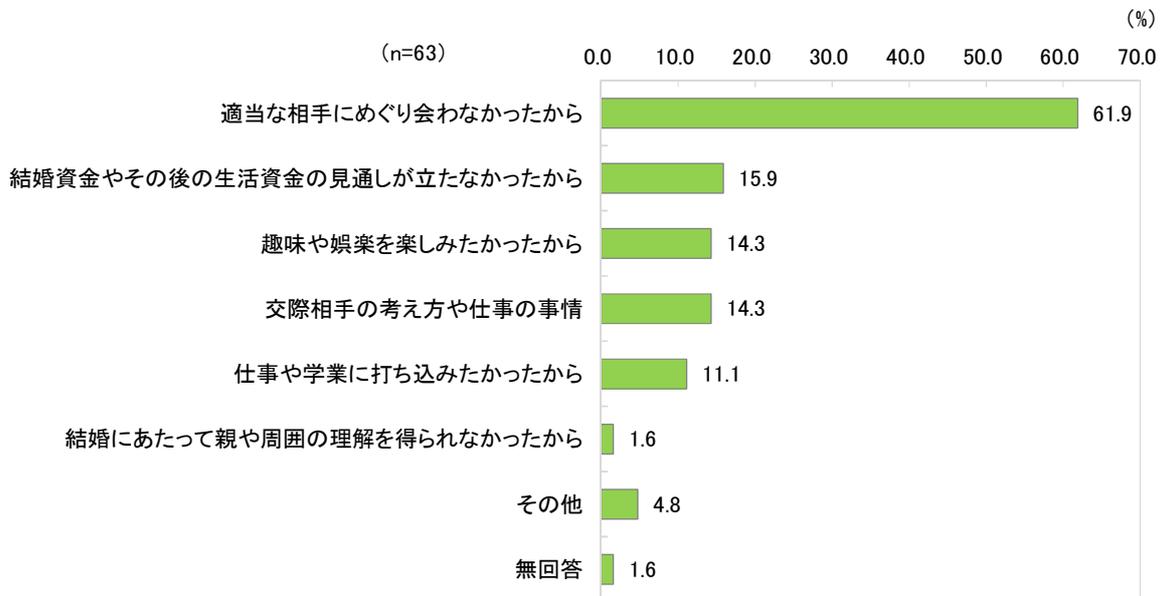


- 問5 結婚を希望する理想の年齢は、25～29歳が48.0%だが、現実では、この年代に結婚したのは32.0%。
- 問6 結婚を希望する理想の年齢より、現実の年齢が上回った理由は、「適当な相手にめぐり会わなかったから」が61.9%で最も多い。
- 問7 結婚の意向がない理由としては、「結婚に必要性を感じないから」が48.6%で最も多い。

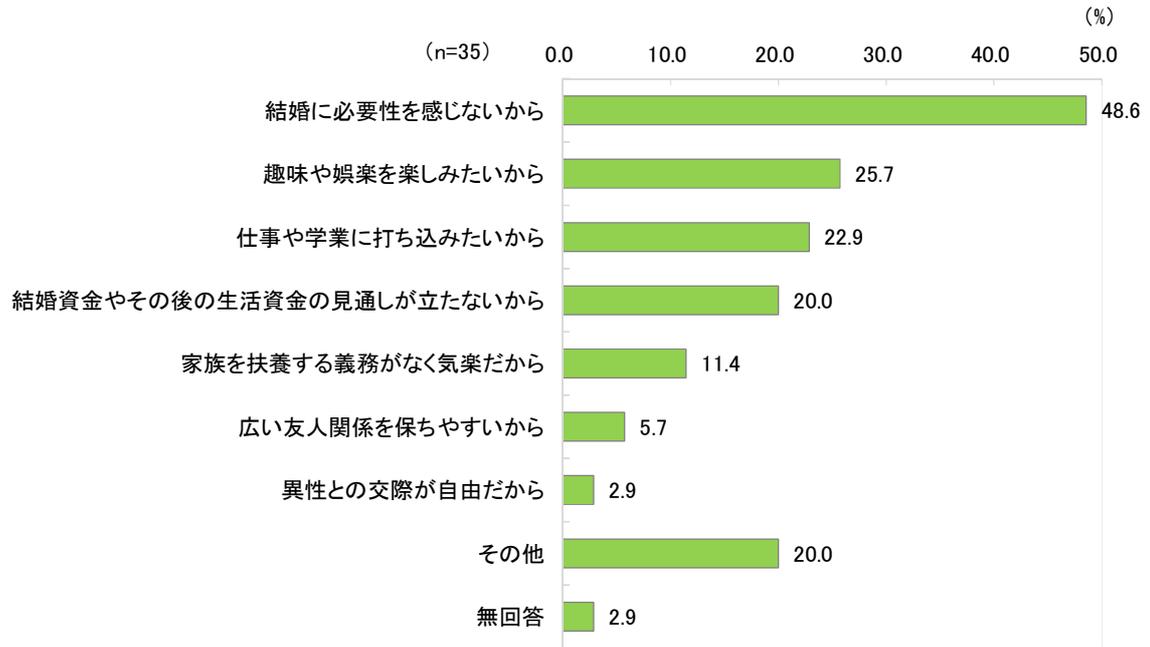
問5 結婚希望年齢



問6 理想より現実の年齢が上回った理由



問 7 結婚の意向がない理由



3. 出産・子育てについて

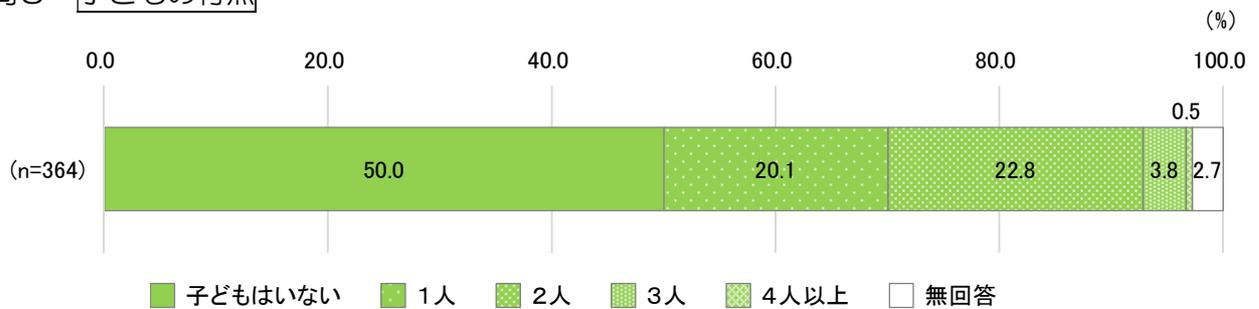
問8 子どもはいる人が50.0%。子どもがいる人については、「1人」が20.1%、「2人」が22.8%。

問9 理想的な子どもの数は、「2人」が59.6%で、「3人」が27.5%。

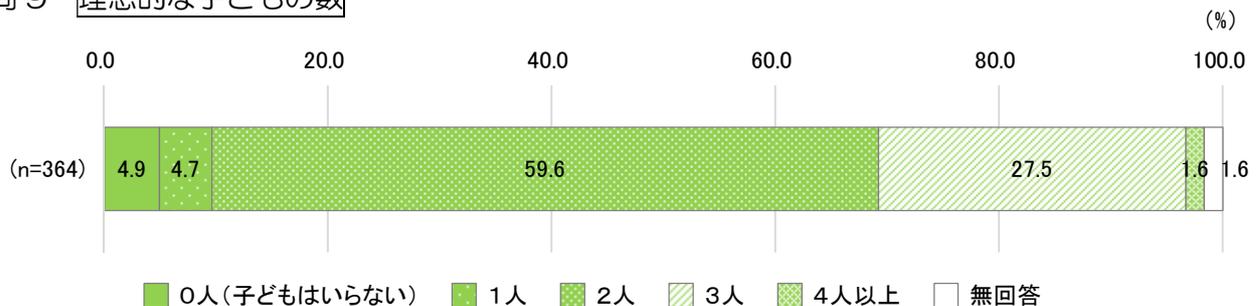
問10 結婚している人のうち、生涯で持つつもりの子どもの数は、「2人」が57.8%、「1人」が20.4%。（なお、蕨市の希望出生率は1.55で、国民希望出生率1.8程度を下回っている。）

問11 生涯で持つつもりの子どもの数が、理想的な子ども数より少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」という経済的理由が半数を超えるほか、「高齢で産むのはいやだから」が29.3%、「ほしいけれども、できないから」が26.3%。

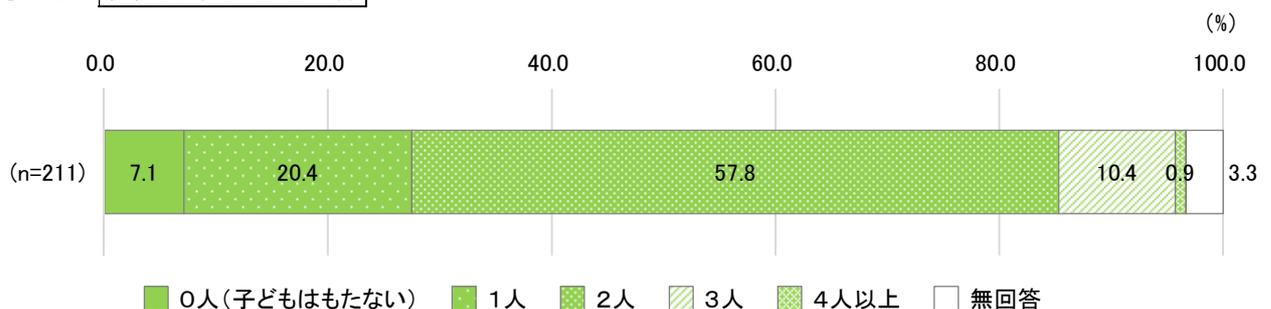
問8 子どもの有無



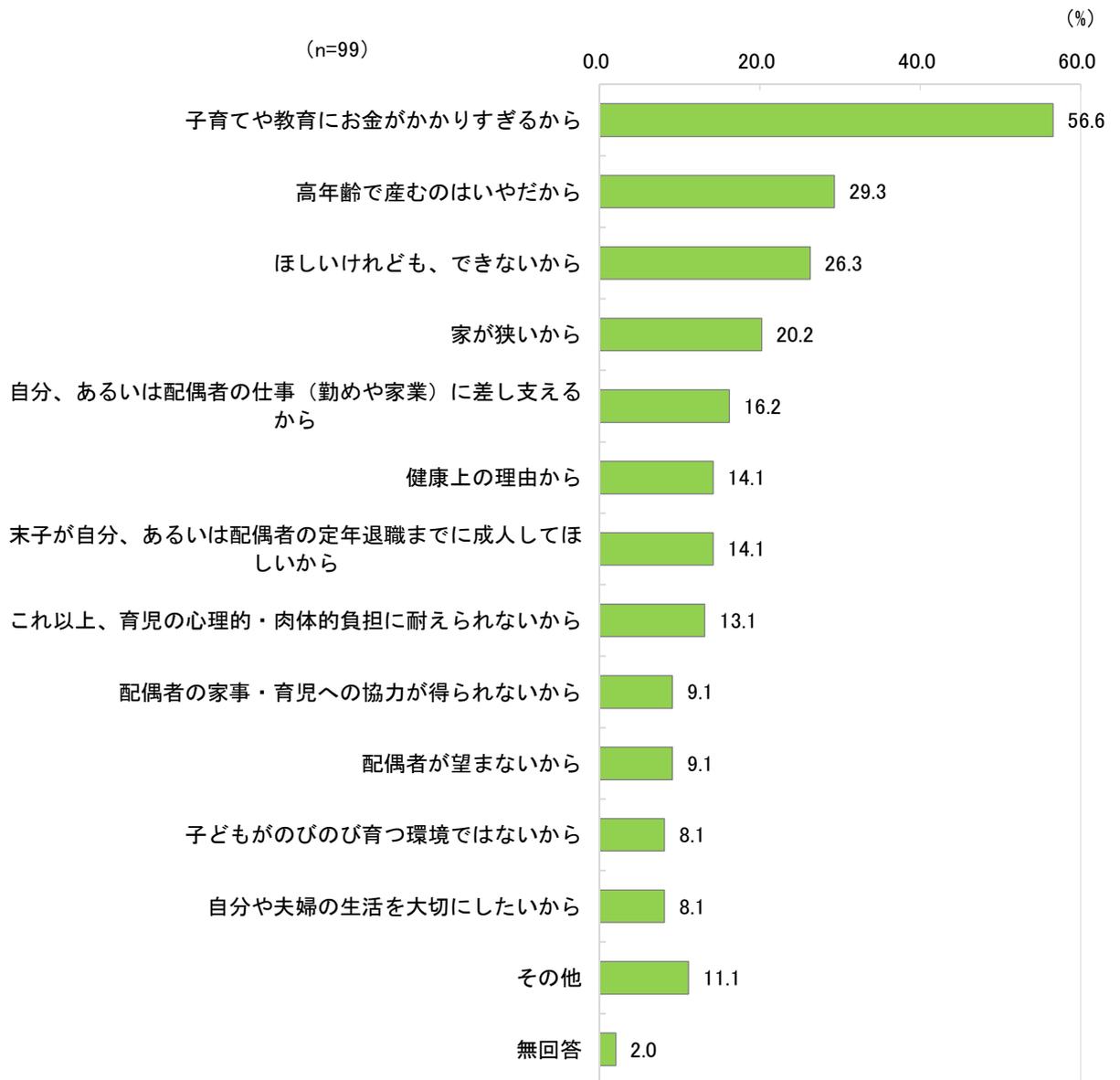
問9 理想的な子どもの数



問10 最終的な子どもの数



問 11 持つつもりの子どもの数の方が少ない理由



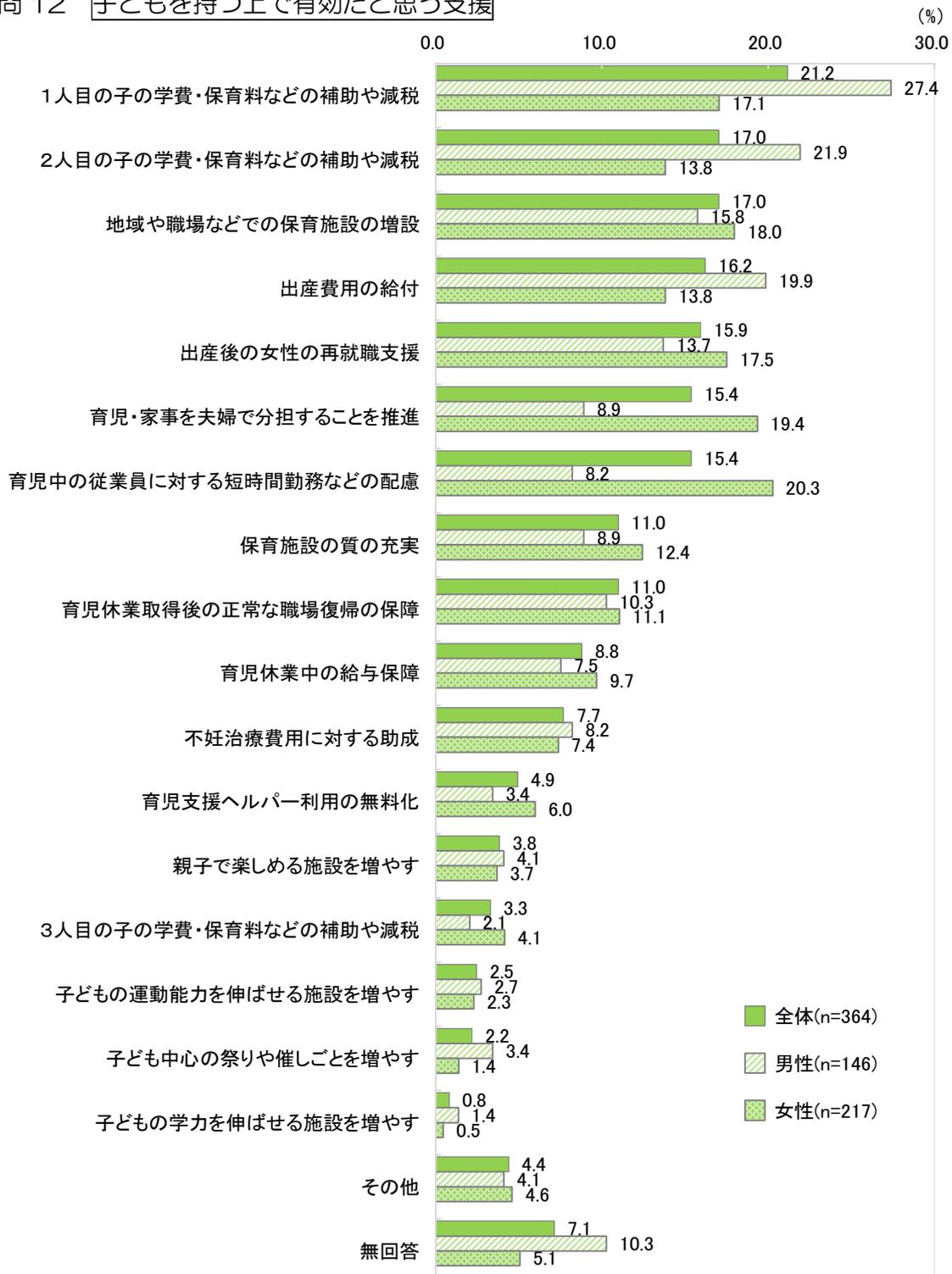
問 12 子どもを持つ上で有効な支援としては、「子どもの学費・保育料などの補助や減税」「地域や職場などでの保育施設の増設」が上位。男性は経済的な支援が上位である一方、女性は働き方への配慮や家事分担などが上位。

問 13 女性にとって出産を希望する理想の年齢は、25～29歳が57.1%。

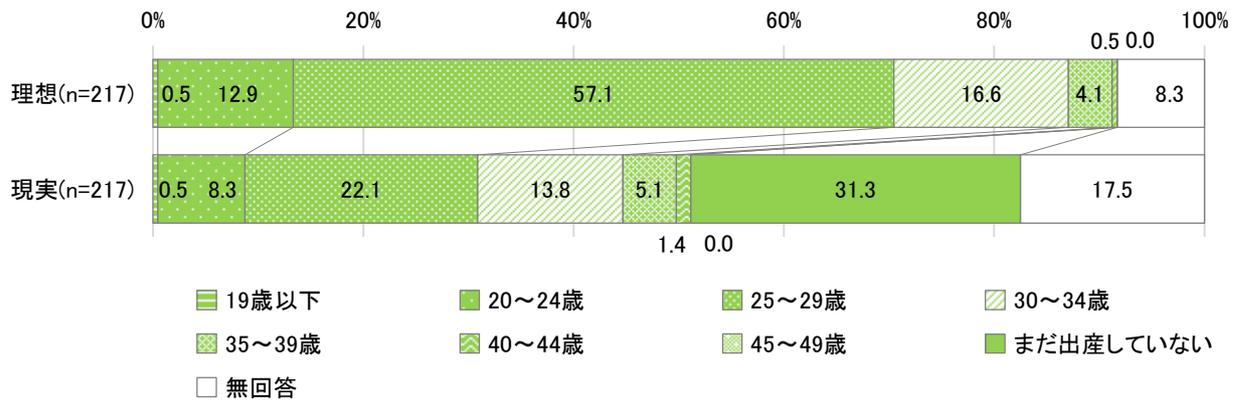
現実では、初めて出産した年齢は、25～29歳が22.1%で、30～34歳が13.8%。

問 14 出産を希望する理想の年齢より、現実の年齢が上回った理由としては、「ほしいけれどもできなかったから」が40.8%。

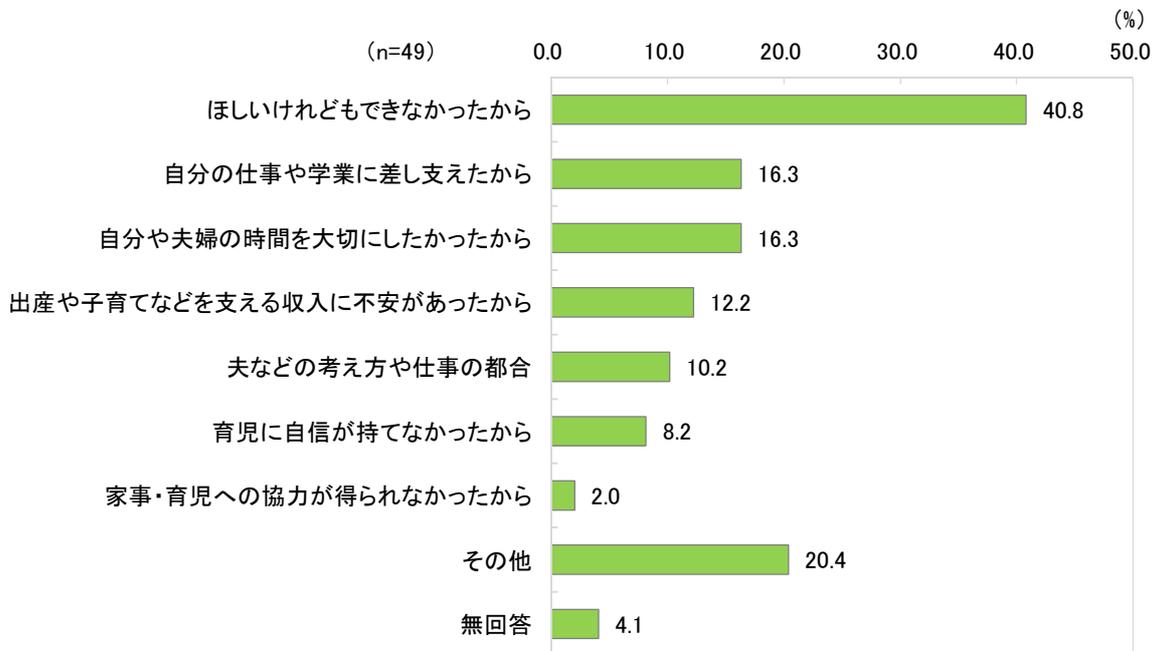
問 12 子どもを持つ上で有効だと思う支援



問 13 出産希望年齢



問 14 理想より現実の年齢が上回った理由



4. 仕事と生活について

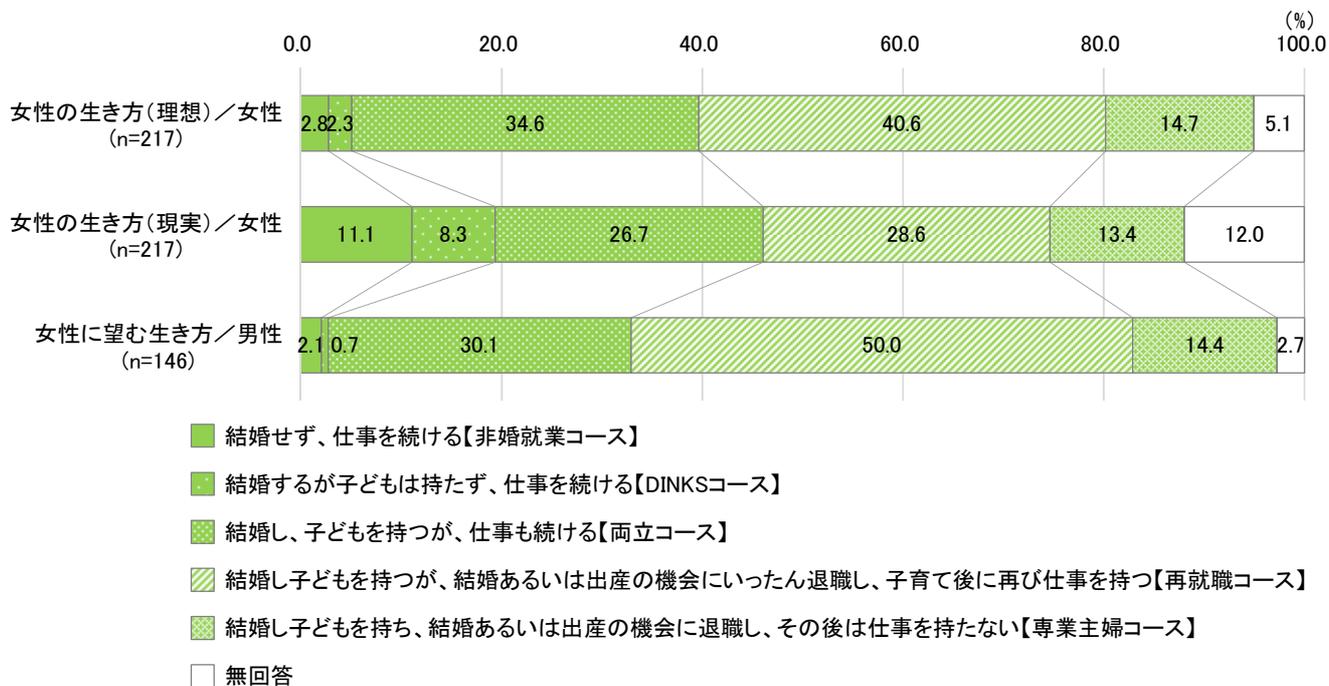
問 16 女性の生き方のタイプの理想としては、再就職コースが 40.6%、両立コースが 34.6%。

女性の生き方のタイプの現実には、再就職コースが 28.6%、両立コースが 26.7%。
非婚就業コースが 11.1%。

男性が女性に望む生き方のタイプとしては、再就職コースが 50.0%、両立コースが 30.1%。

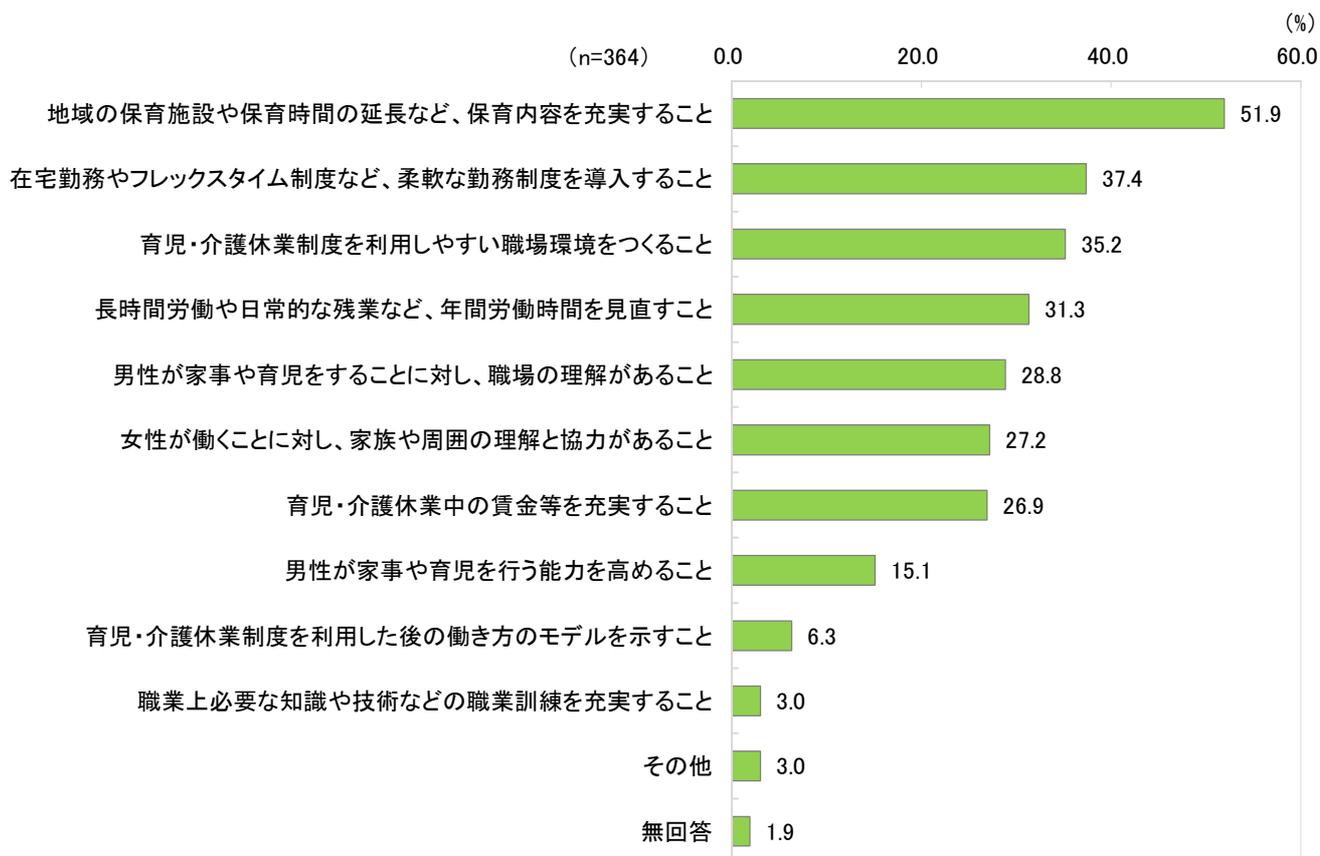
問 17 ワークライフバランス実現のために必要なこととしては、「保育内容の充実」が 51.9%、次いで、「柔軟な勤務制度」「育児・介護休業を利用しやすい職場環境」が上位。

問 16 女性の結婚・出産・働き方



注：【非婚就業コース】等の呼称は、第 14 回出生動向基本調査の結果概要（国立社会保障・人口問題研究所）による。

問 17 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）実現のために

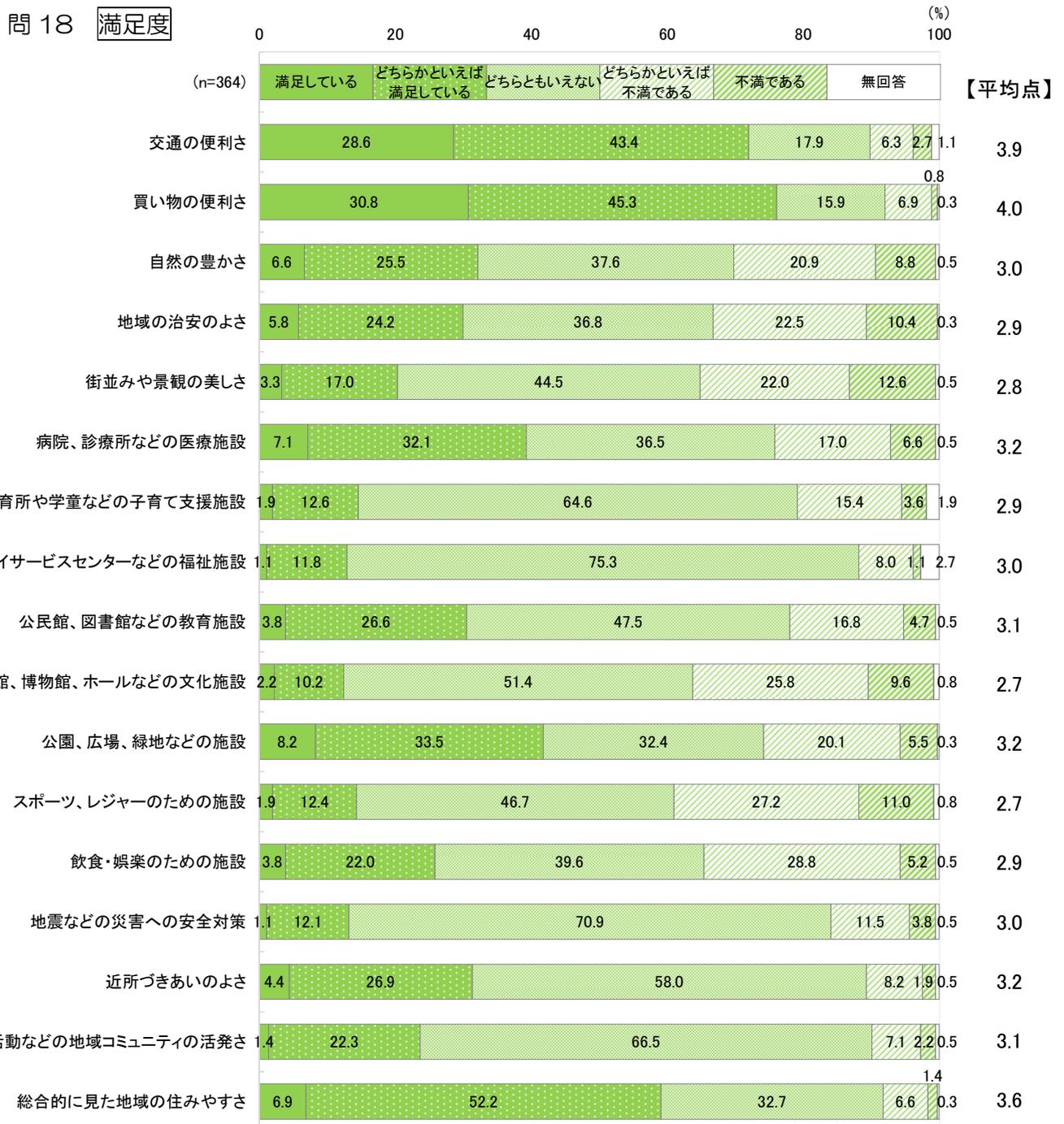


5. 蕨市のまちづくりについて

問 18 普段の生活に対する満足度の平均点は、「買い物」「交通」の満足度が高い一方、「文化施設」「スポーツ、レジャー施設」「街並みや景観の美しさ」の満足度は低い。

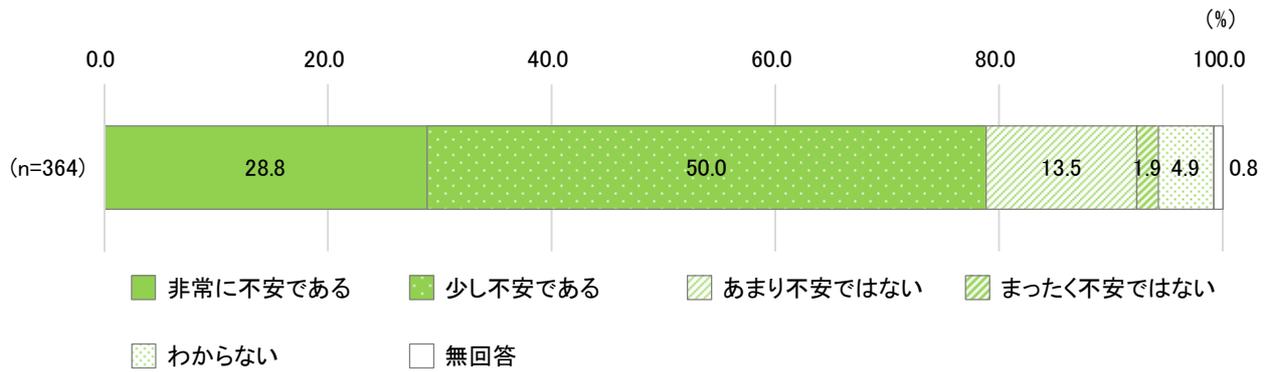
問 19 人口問題に対して不安を感じているのは 78.8%。

問 20 不安の内容としては、「社会保障制度が立ち行かなくなること」が 72.1%。次いで、「福祉サービスが行き届かなくなること」「地域を支える担い手が不足すること」が上位。

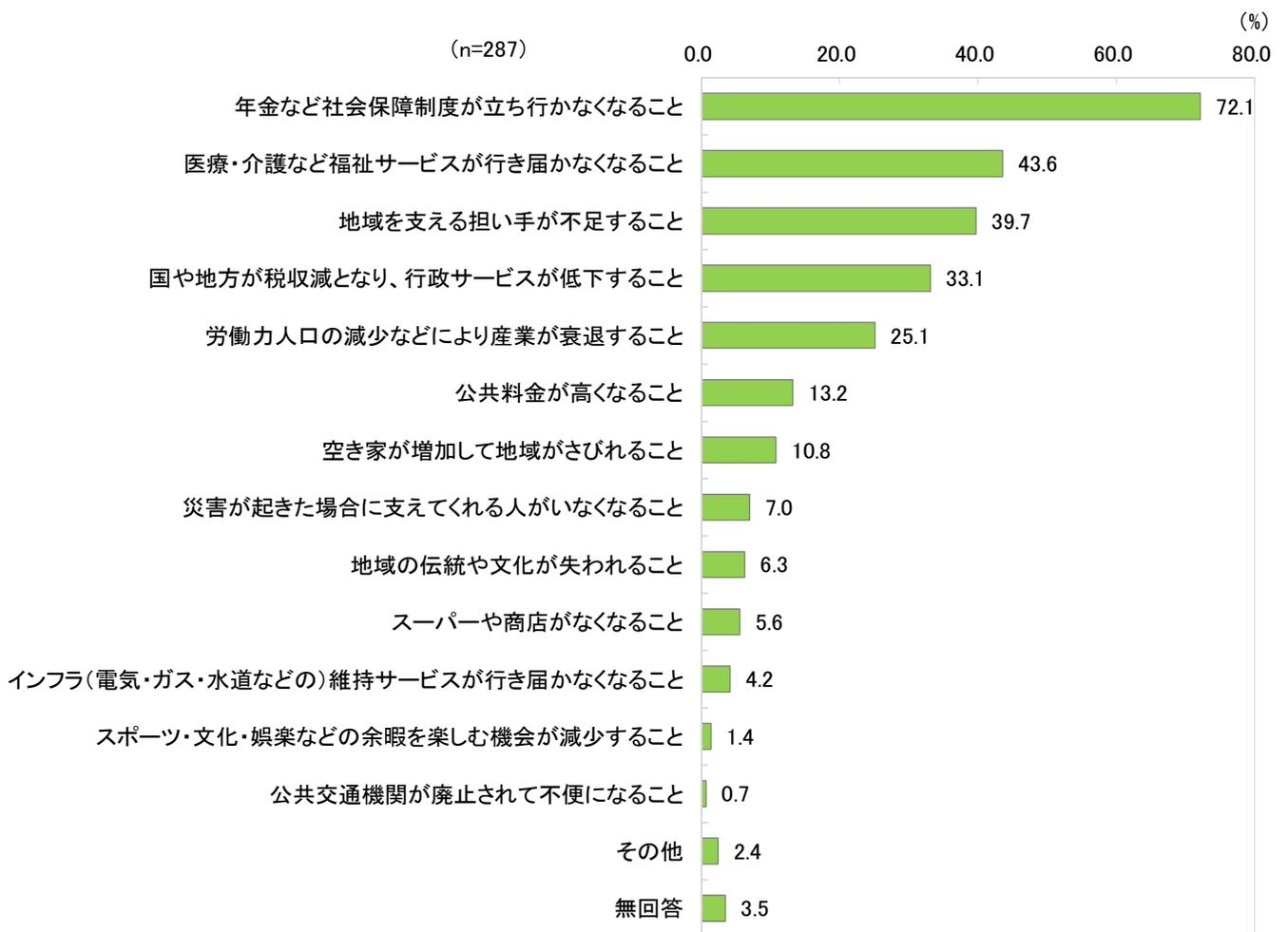


注：満足度の平均点は、「満足している・どちらかといえば満足している・どちらともいえない・どちらかといえば不満である・不満である」の回答数に、「5・4・3・2・1」点を与え、その合計を回答数（無回答を除く）で除して算出。

問 19 人口問題に対する不安



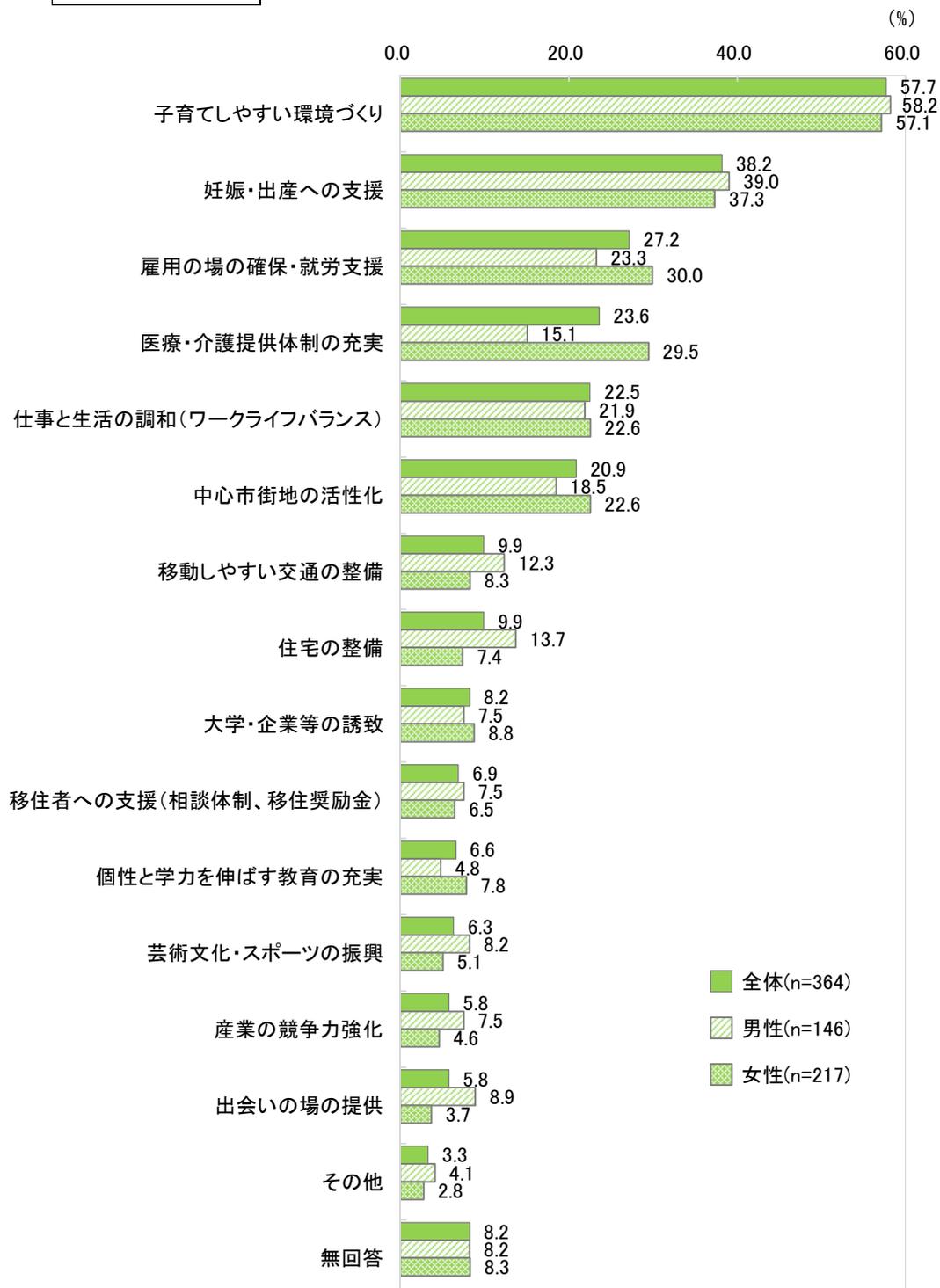
問 20 不安の内容



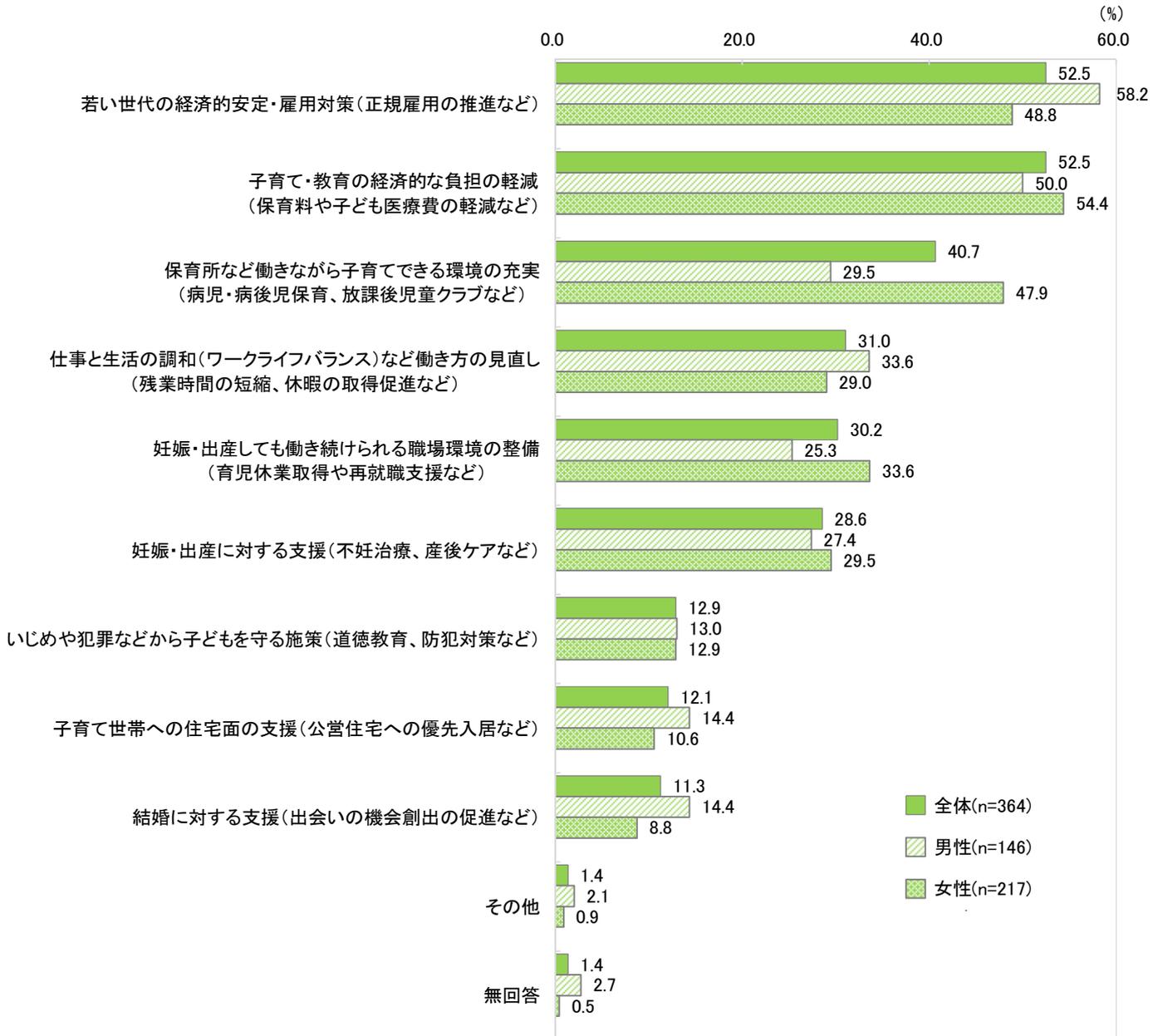
問 21 人口問題への対応としては、「子育てしやすい環境づくり」が 57.7%で、次いで「妊娠・出産への支援」、「雇用の場の確保・就労支援」が上位。女性の方が「雇用の場の確保・就労支援」と「医療・介護提供体制の充実」が多い。

問 22 少子化対策としては、「若い世代の経済的安定・雇用対策」と「子育て・教育の経済的な負担の軽減」がそれぞれ 52.5%で最も多い。男性は「若い世代の経済的安定・雇用対策」、女性は「子育て・教育の経済的な負担の軽減」が最も多い。また女性は、「働きながら子育てできる環境の充実」も上位。

問 21 人口問題への対応



問 22 少子化対策

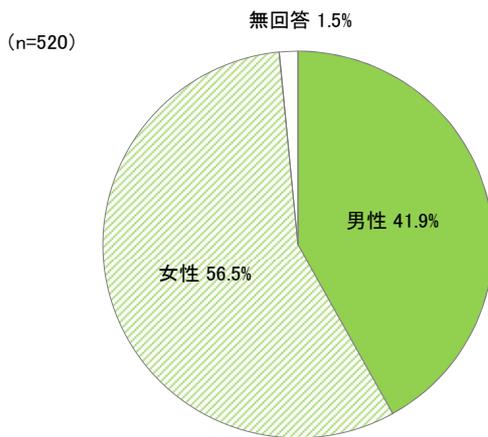


2. 転入・転出や地域連携等に関するアンケート

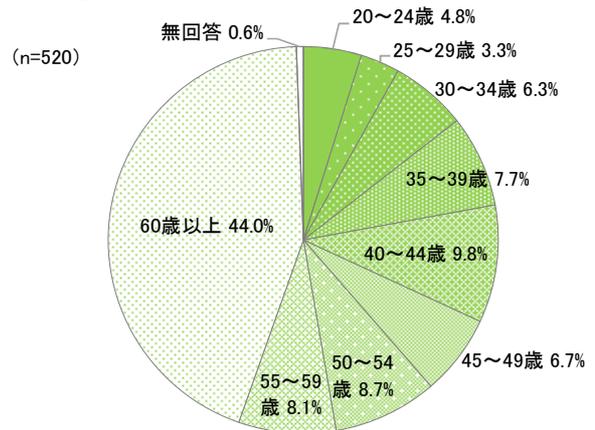
- ◆調査期間 平成27年6月
- ◆調査対象 20歳以上の市民1,000名
- ◆回収数(率) 521票【有効票520票・白票1票】(52.1%)

1. あなたご自身について

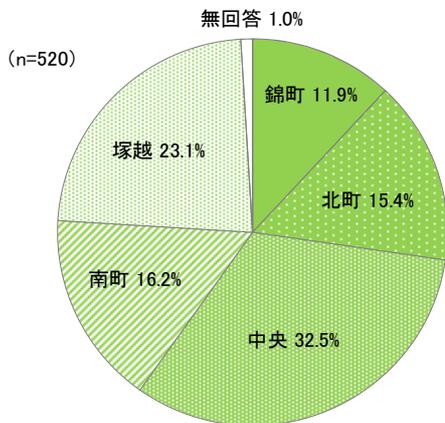
【性別】



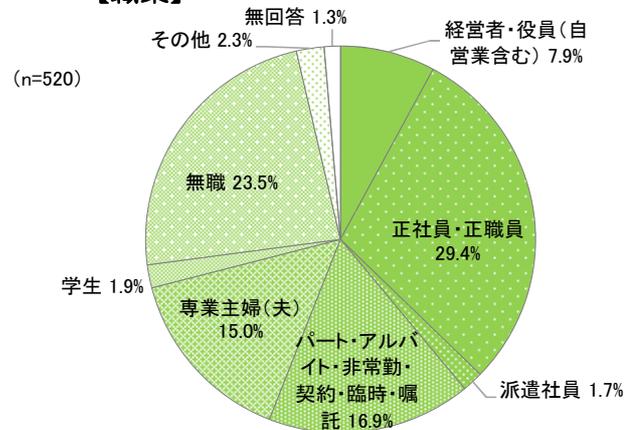
【年齢】



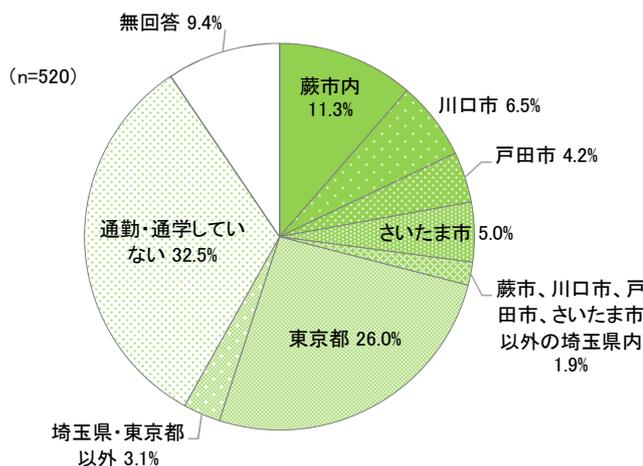
【居住地】



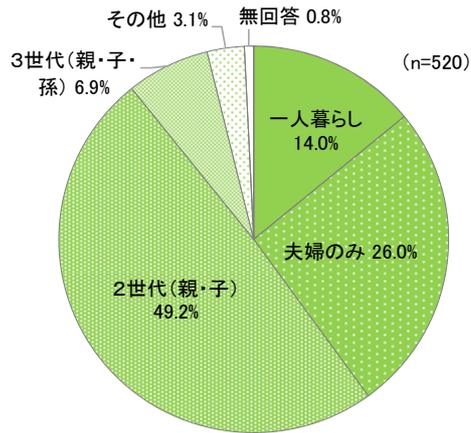
【職業】



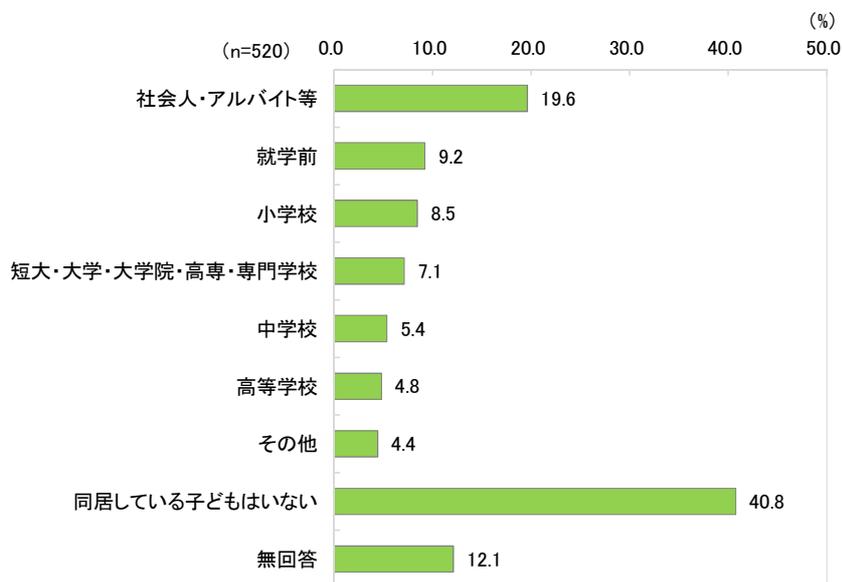
【通勤・通学地】



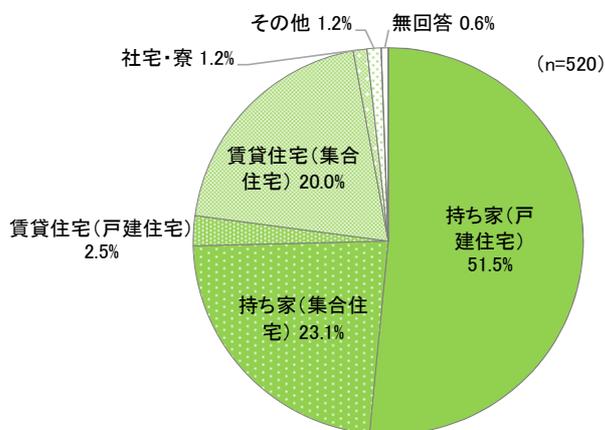
【家族構成】



【同居の子ども】



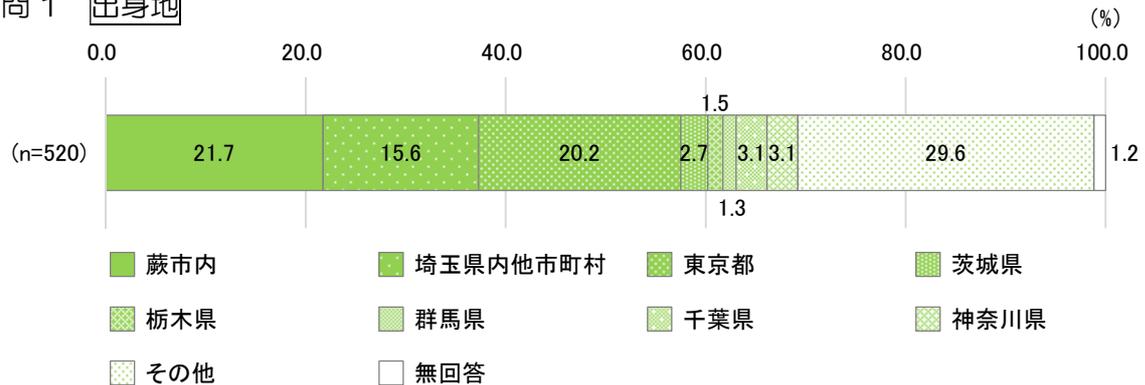
【住まい】



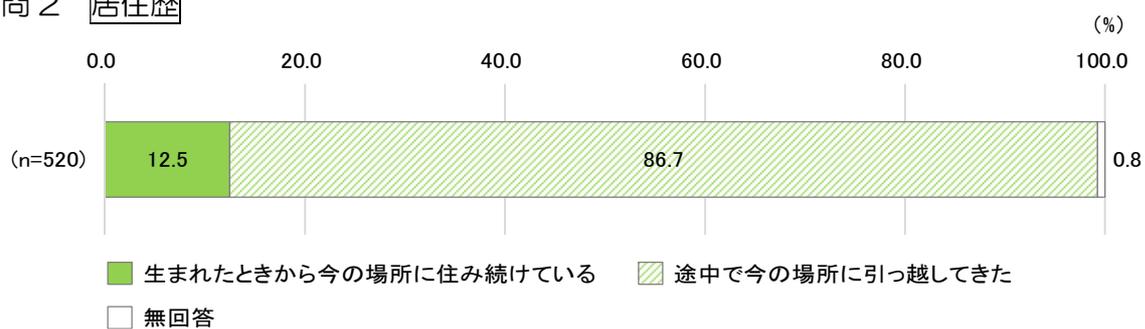
2. 転入・転出について

- 問1 出身地は、「蕨市内」「東京都」がそれぞれ約20%で、「埼玉県内他市町村」が15.6%。
 問2 途中で蕨市内の今の場所に引っ越してきた人は86.7%。
 問3 引っ越しのきっかけは、「住まいのため」が39.5%、「結婚のため」が32.8%。女性は「結婚のため」、男性は「仕事のため」が多い傾向。

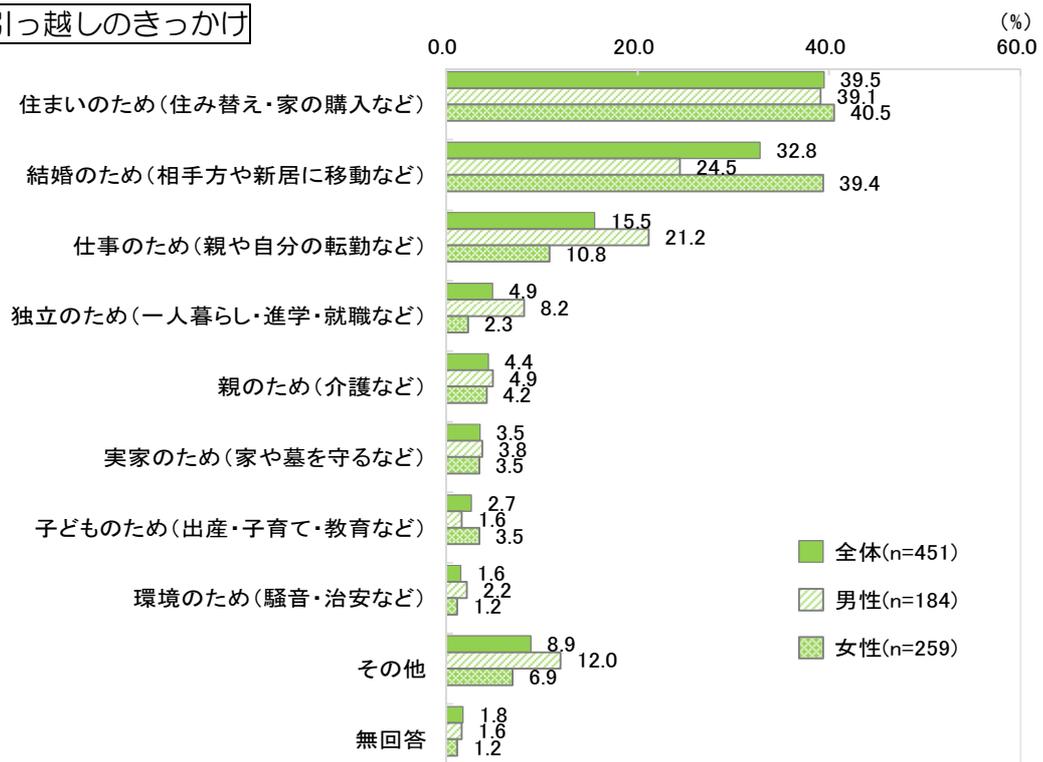
問1 出身地



問2 居住歴



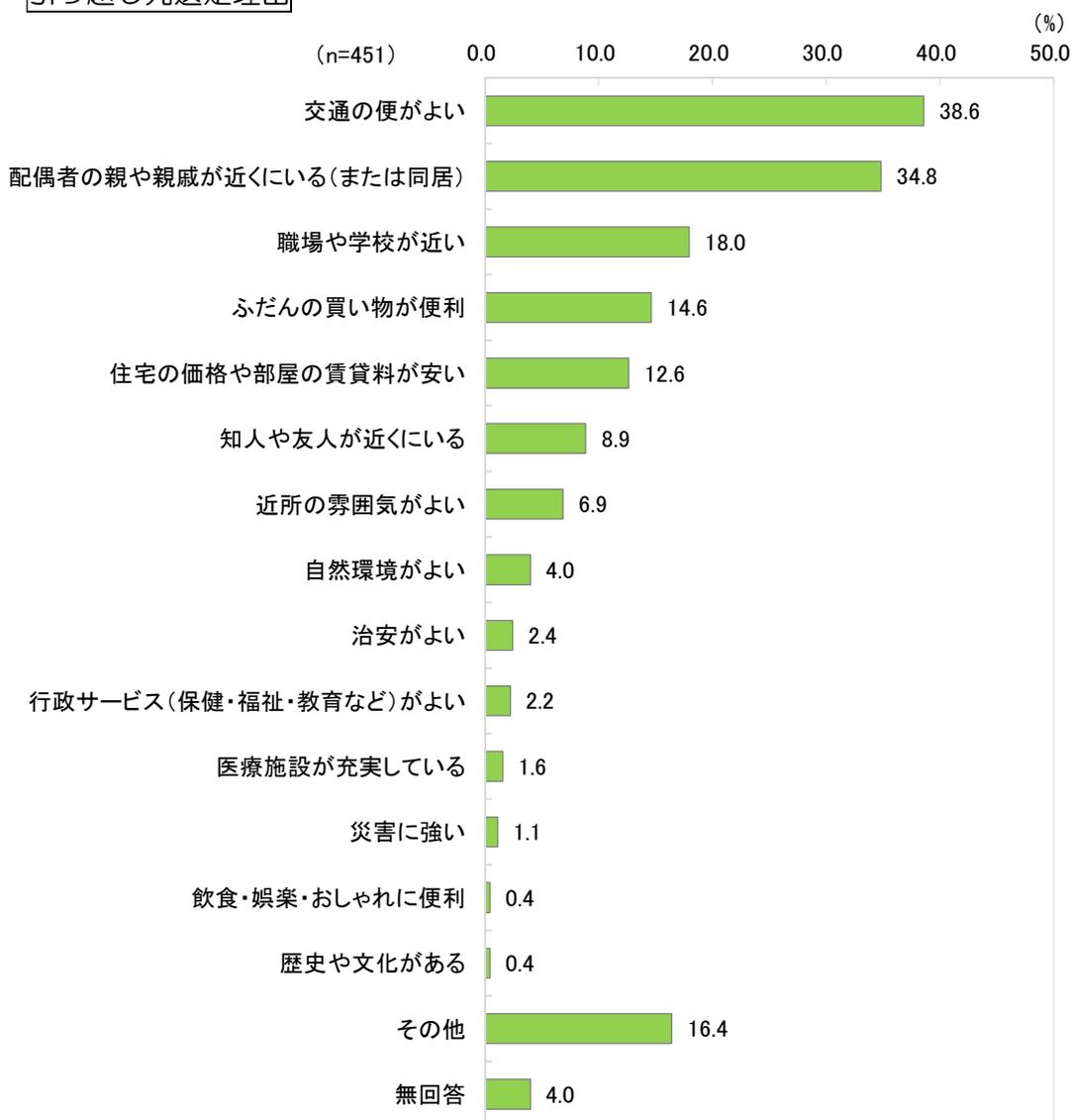
問3 引っ越しのきっかけ



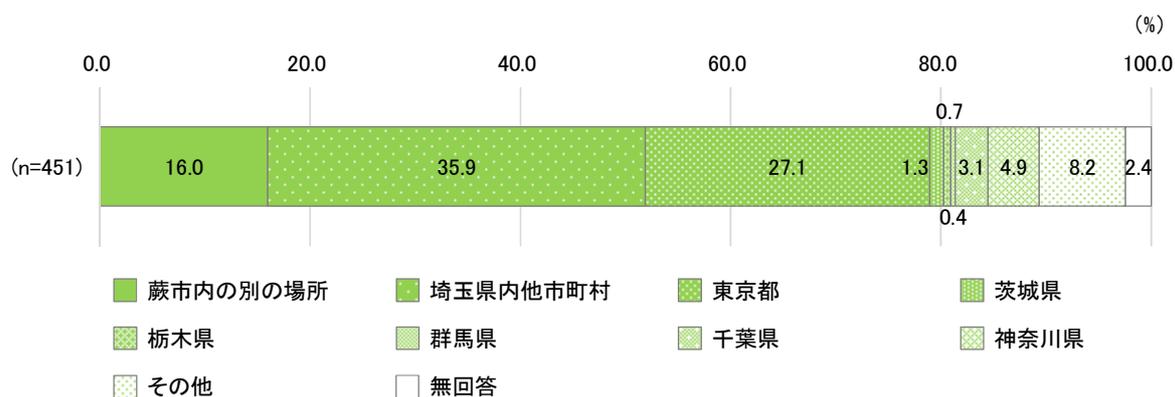
問4 引っ越し先選定の理由は、「交通の便がよい」が38.6%、「配偶者の親や親戚が近くにいる」が34.8%。

問5 以前の居住地は、「埼玉県内他市町村」(川口市、戸田市、さいたま市など)が35.9%、「東京都」が27.1%。

問4 引っ越し先選定理由

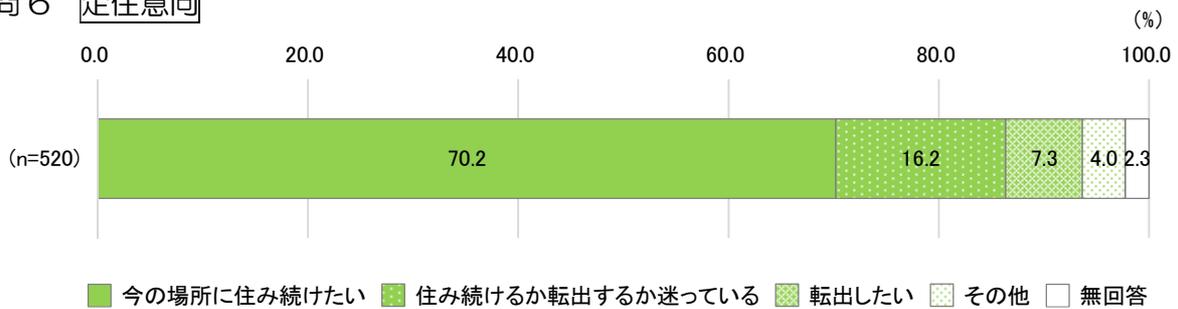


問5 以前の居住地



- 問 6 今の場所に住み続けたい人は 70.2%。
 問 7 住み続けたい理由は、「交通の便がよい」が 44.9%、「持ち家がある」が 36.2%、「住み慣れている」が 35.1%。
 問 8 転出したい理由は、「老後の生活に向かない」「持ち家でない」「行政サービスが悪い」「治安が悪い」が 15~20%で同程度。
 問 9 すぐに転出しない理由は、「金銭的な理由」が 61.5%。
 問 10 転出希望先は、「特に決まっていない」が 35.2%、「東京都」が 24.6%。

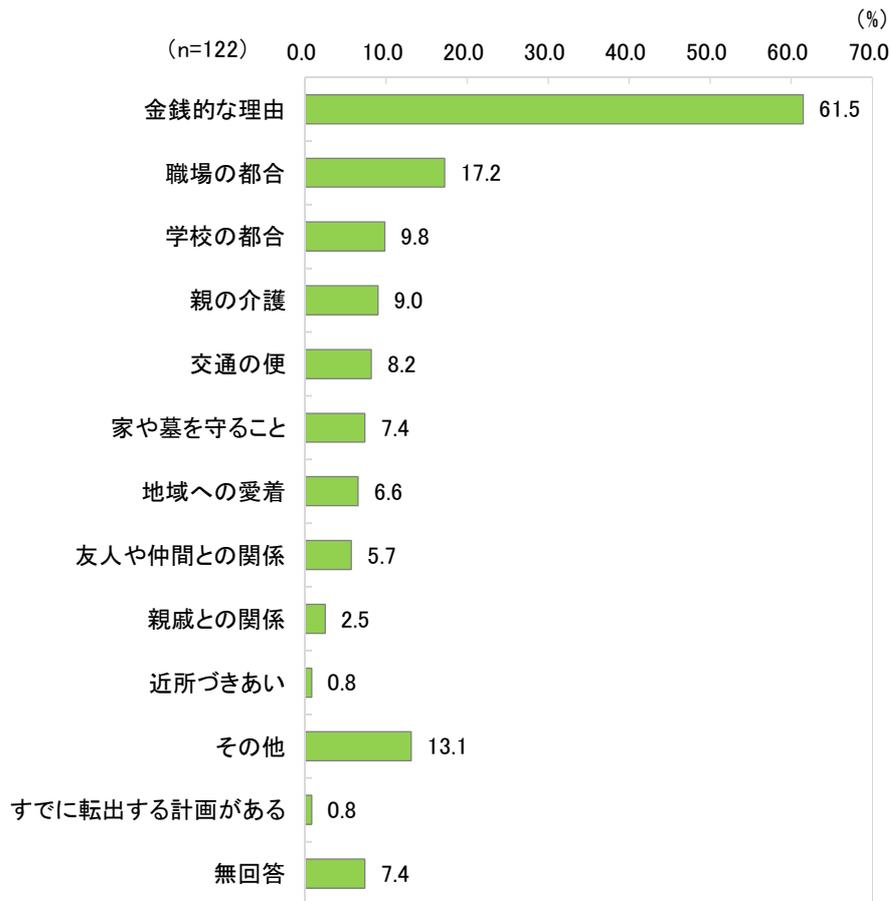
問 6 **定住意向**



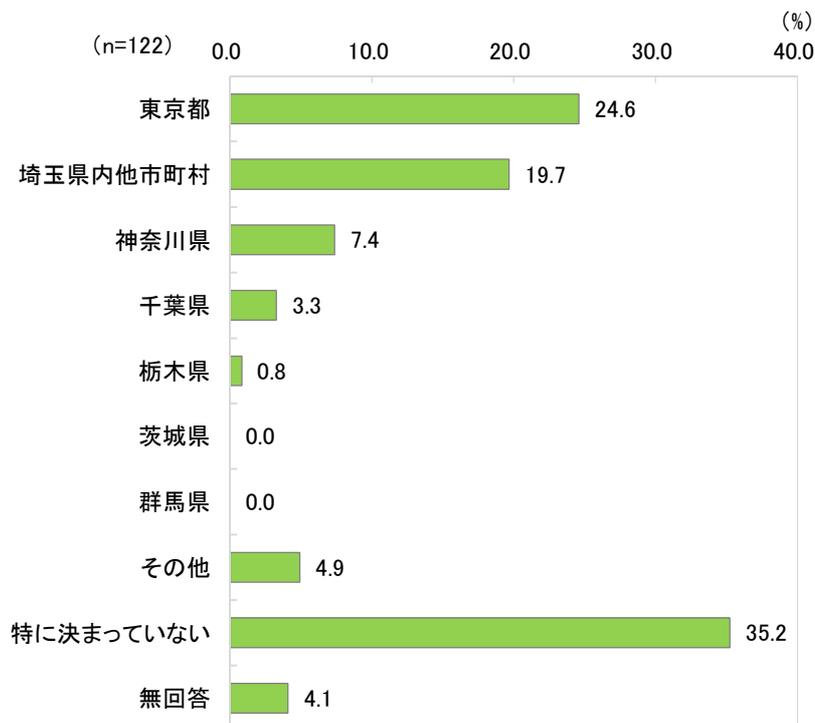
問 7 **住み続けたい理由**・問 8 **転出したい理由**



問 9 すぐに転出しない理由

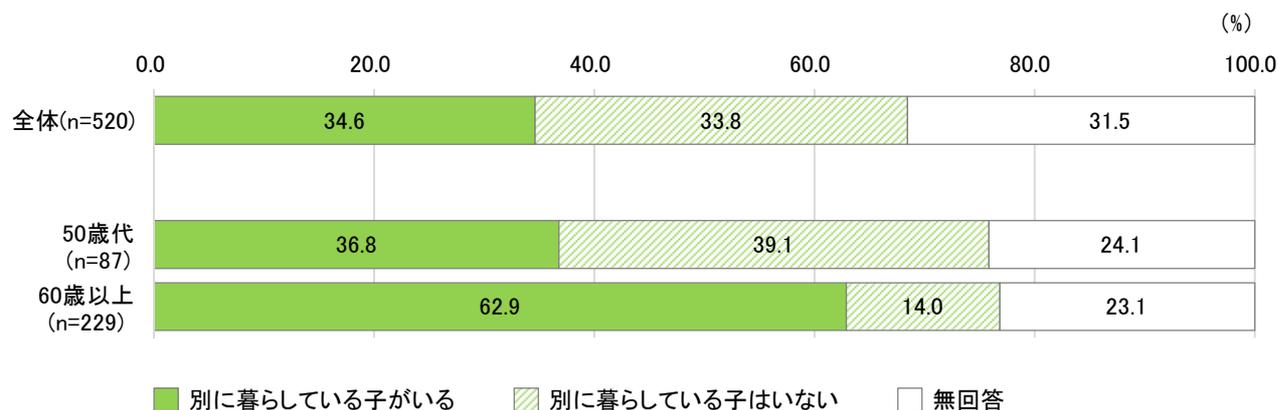


問 10 転出先

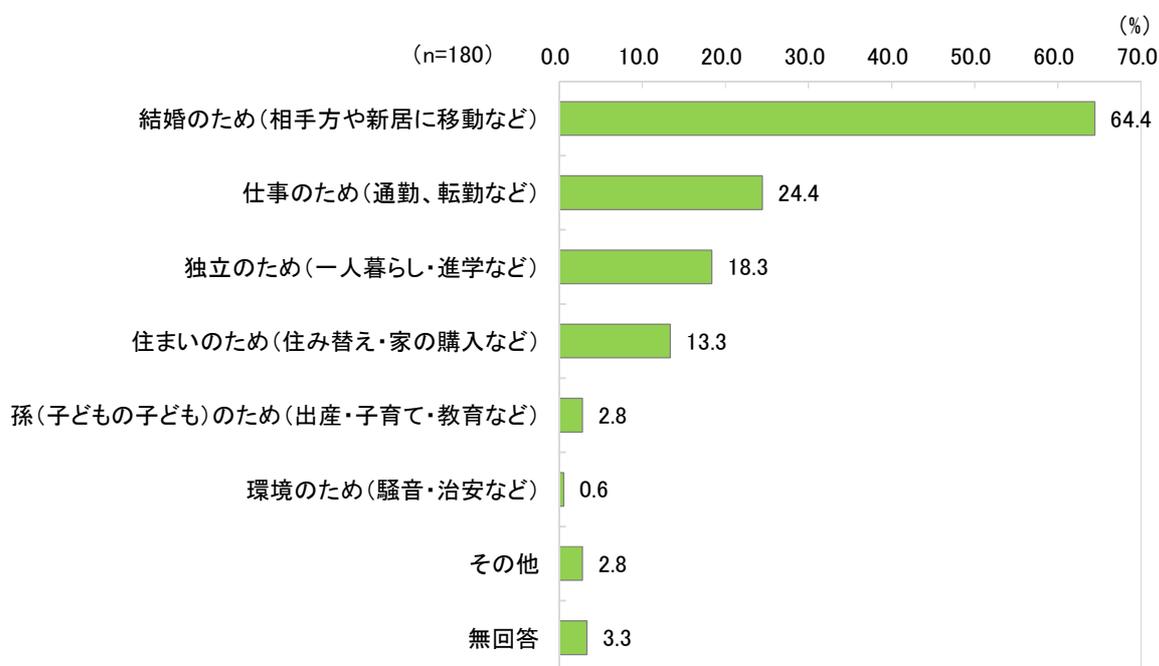


- 問 11 別に暮らす子どもがいるのは、50歳代で36.8%、60歳以上で62.9%。
 問 12 子どもの引っ越した状況は、「結婚のため」が64.4%、「仕事のため」が24.4%。
 問 13 子どもの引っ越し先は、「埼玉県内他市町村」が36.1%、「蕨市内」が21.7%、「東京都」が16.1%。
 問 14 子どもの引っ越し先選定理由は、「配偶者の親や親戚が近くにいる」が37.8%、「職場や学校が近い」が35.0%、「交通の便がよい」が33.9%で上位。

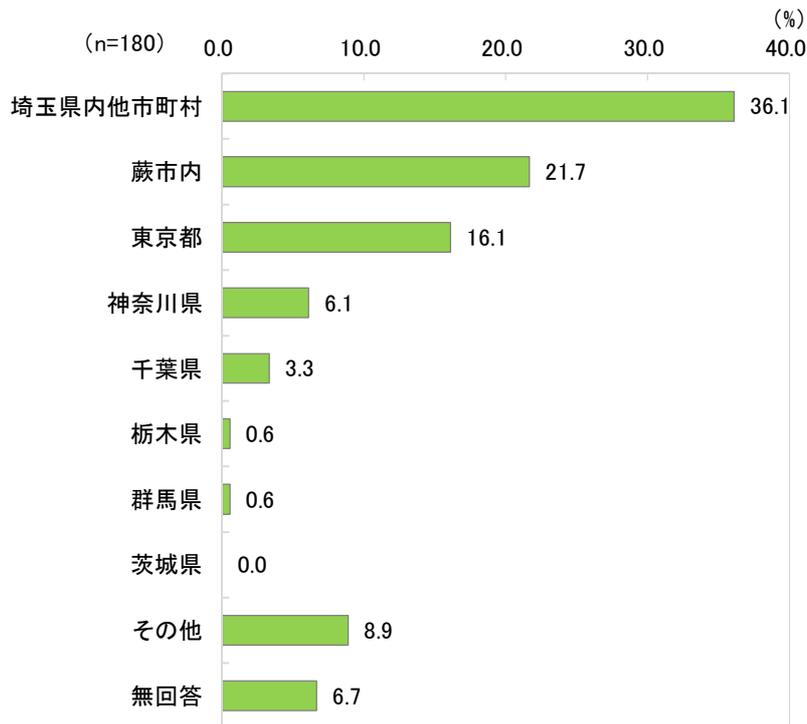
問 11 子どもの状況



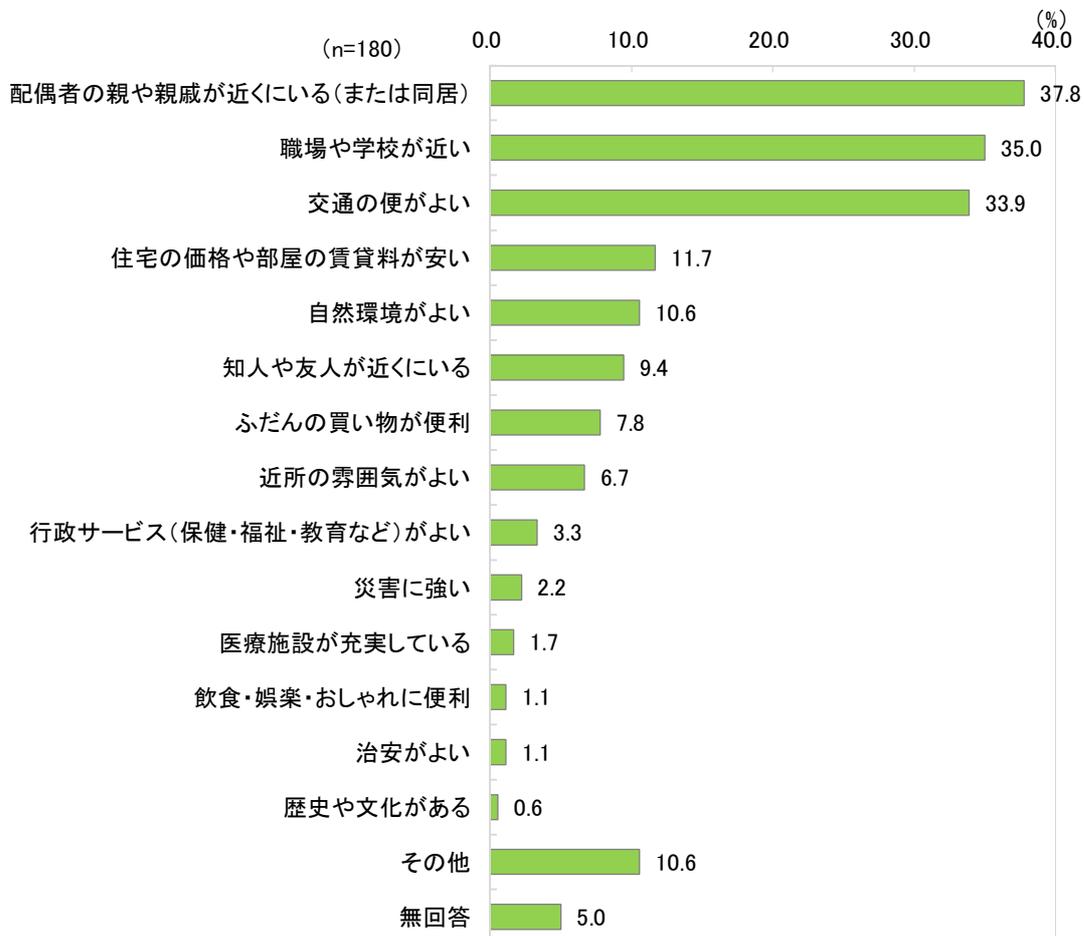
問 12 子どもの引っ越した状況



問 13 **お子さんの引っ越し先**



問 14 **お子さんの引っ越し先の選定理由**

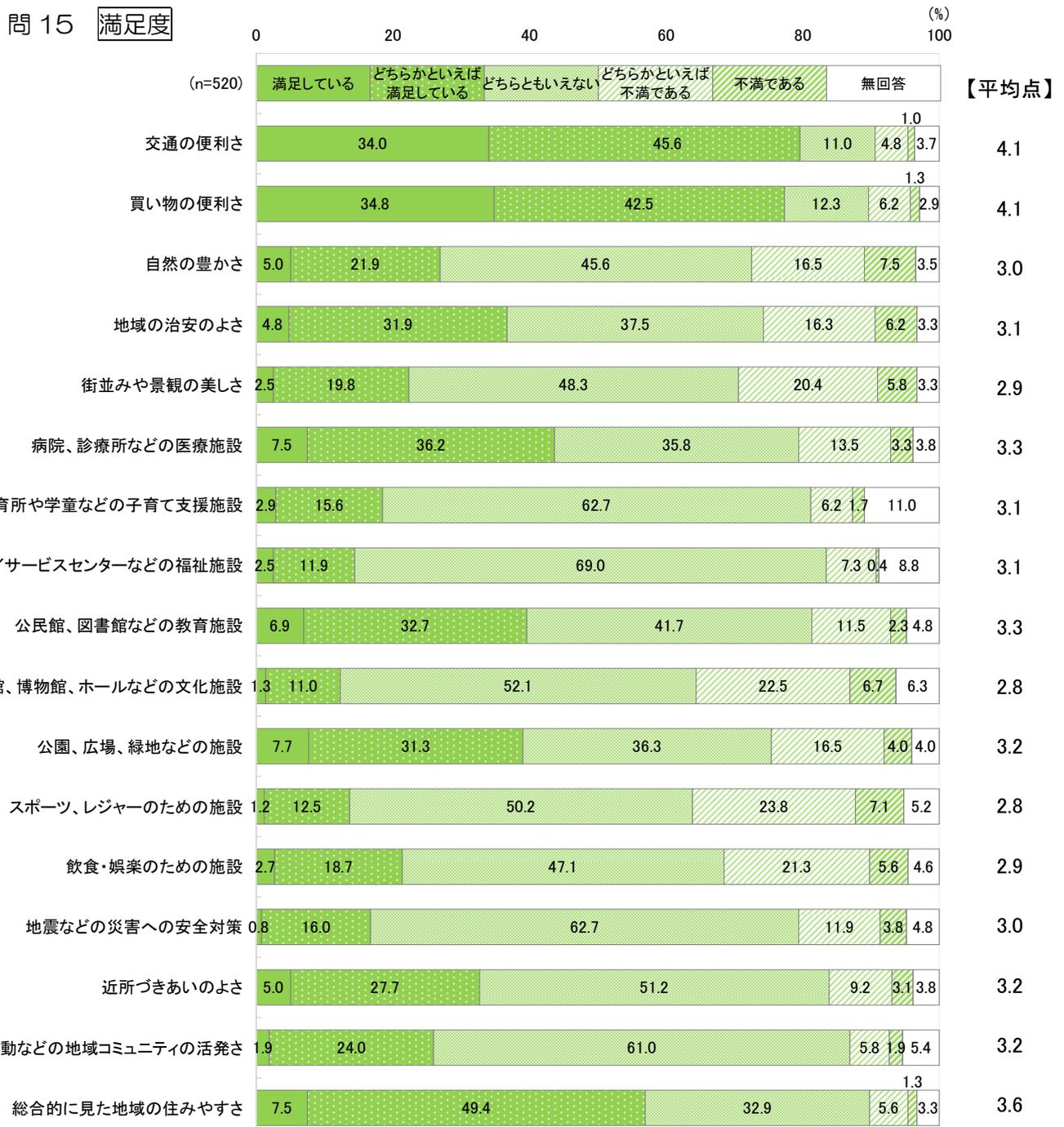


3. 藤市のまちづくりについて

問 15 普段の生活に対する満足度の平均点は、「買い物」「交通」の満足度が高い一方、「文化施設」「スポーツ、レジャー施設」の満足度は低い。

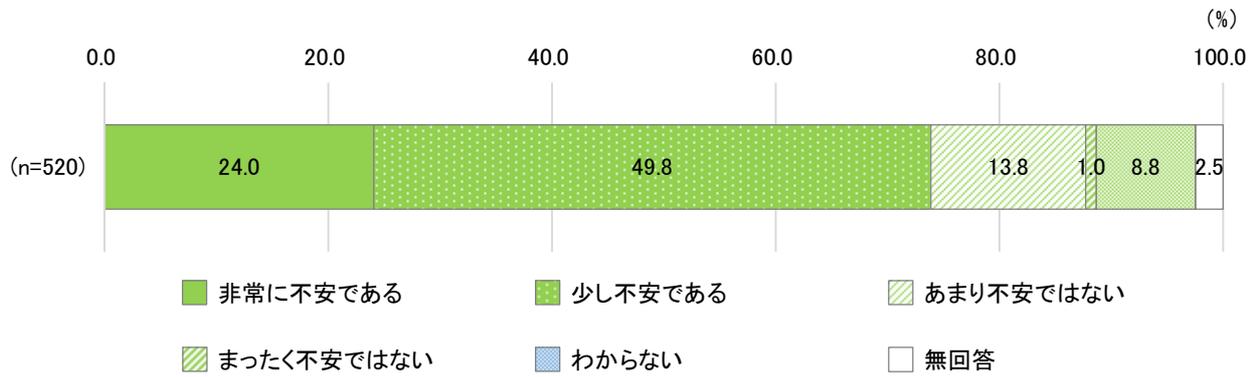
問 16 人口問題に対して不安を感じているのは 73.8%。

問 17 不安の内容としては、「社会保障制度が立ち行かなくなること」が 62.5%。次いで、「福祉サービスが行き届かなくなること」、「地域を支える担い手が不足すること」が上位。

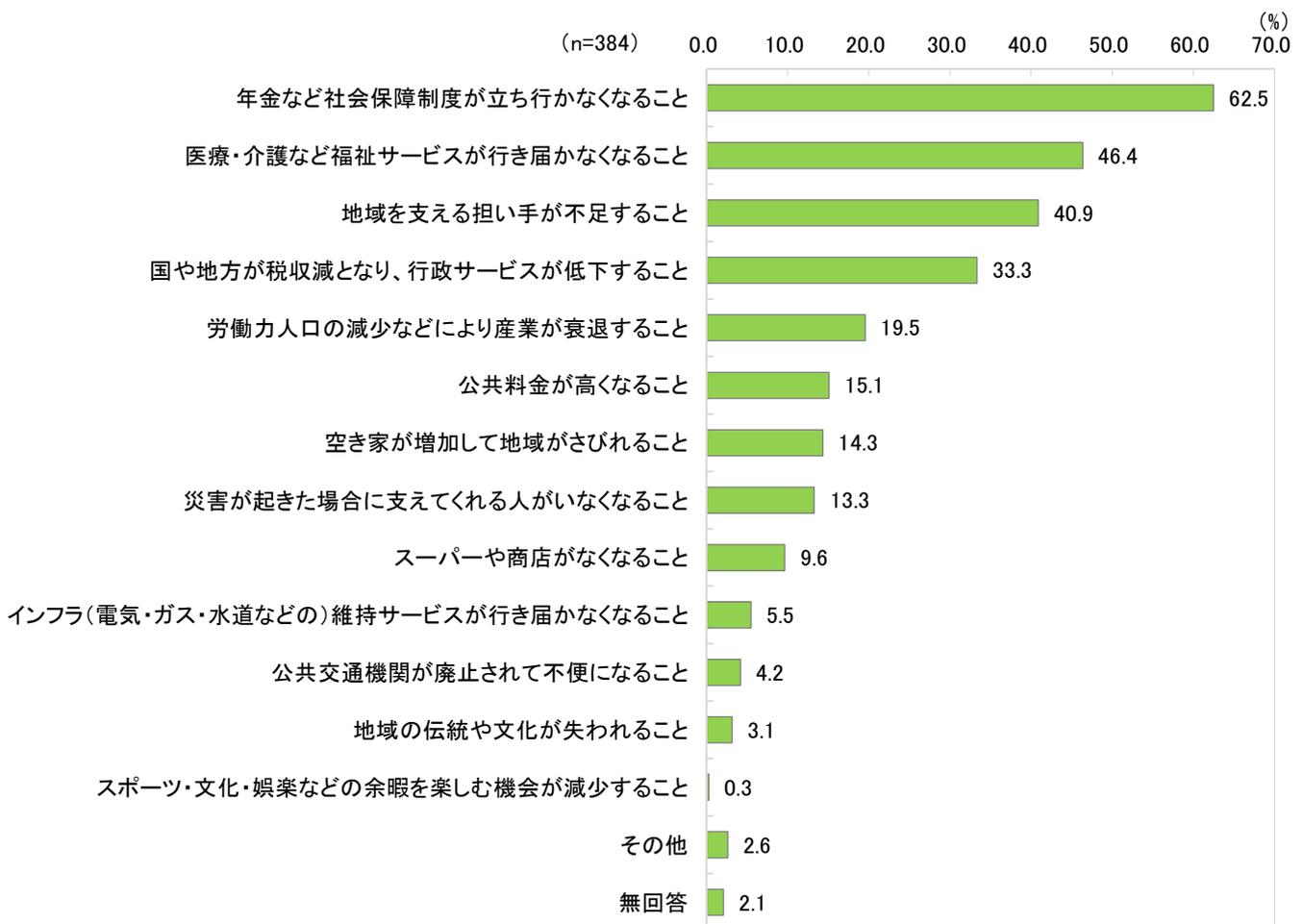


注：満足度の平均点は、「満足している・どちらかといえば満足している・どちらともいえない・どちらかといえば不満である・不満である」の回答数に、「5・4・3・2・1」点を与え、その合計を回答数（無回答を除く）で除して算出。

問 16 人口問題に対する不安

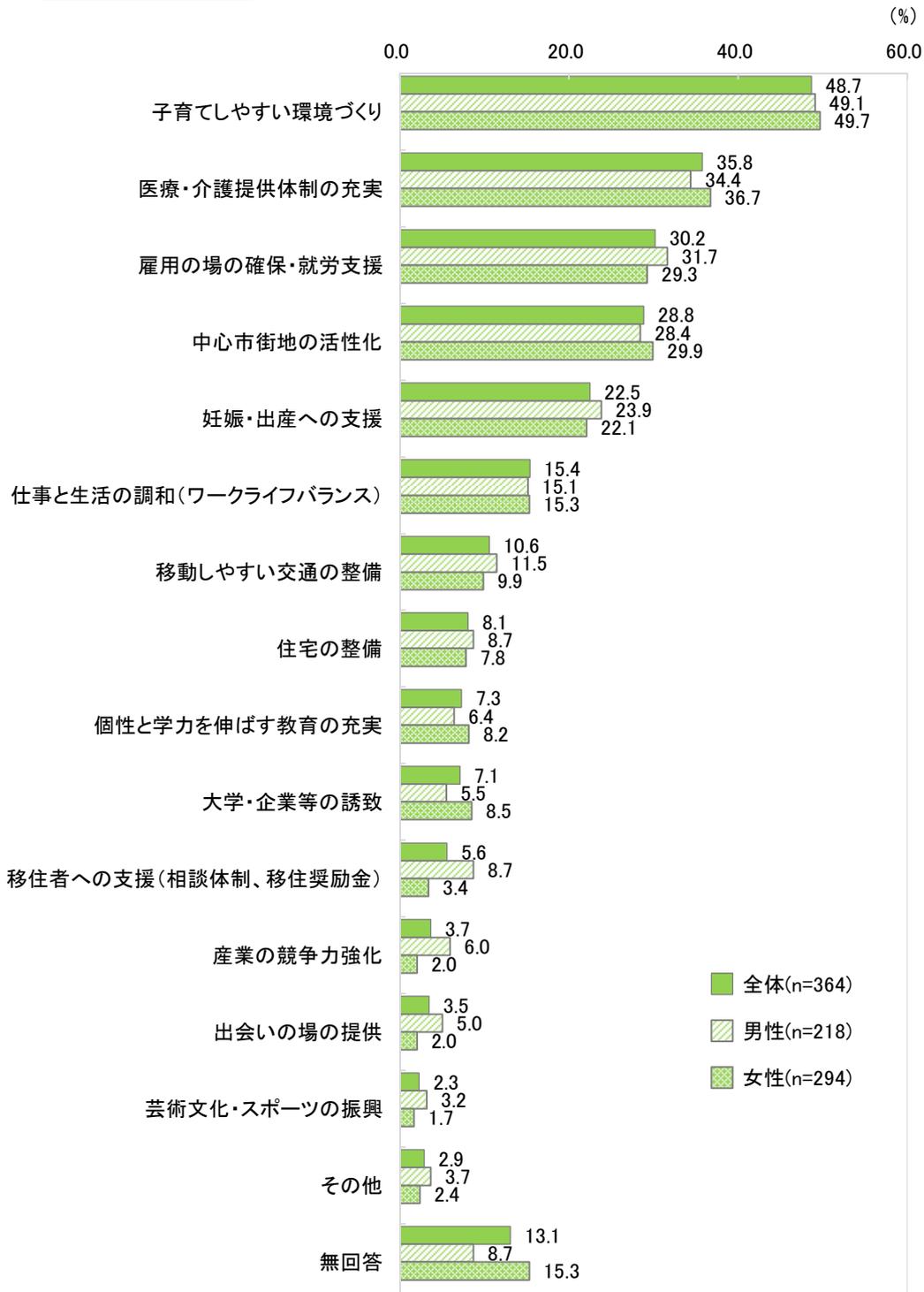


問 17 不安の内容

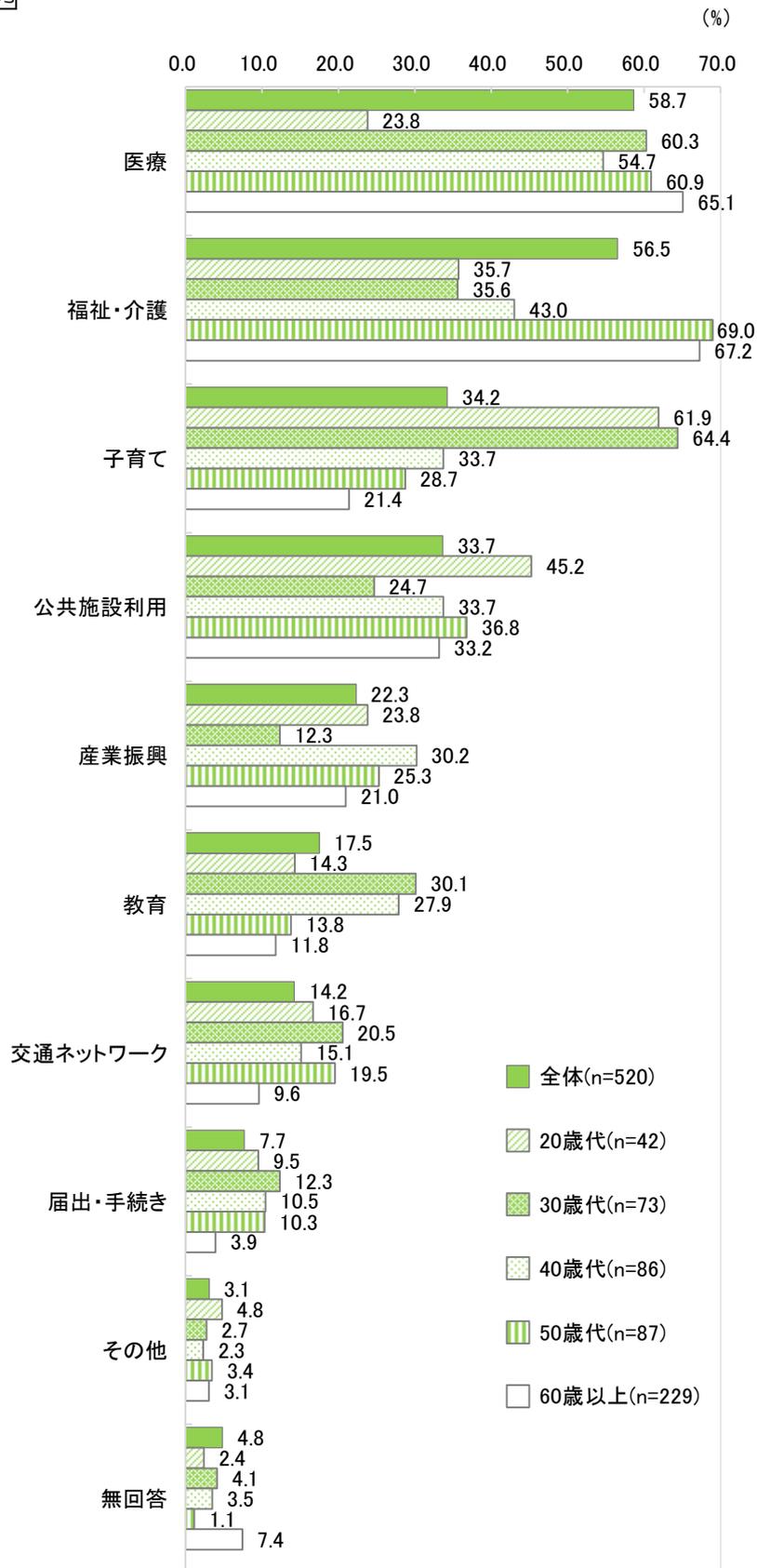


- 問 18 人口問題への対応としては、「子育てしやすい環境づくり」が 48.7%で、次いで「医療・介護提供体制の充実」「雇用の場の確保・就労支援」「中心市街地の活性化」が上位。男女ともに同様。
- 問 19 地域連携のテーマは、「医療」「福祉・介護」がそれぞれ半数超え、「子育て」「公共施設利用」がそれぞれ約 30%。年齢が高いほど、「医療」「福祉・介護」が多く、年齢が低いほど「子育て」が多い傾向。

問 18 人口問題への対応

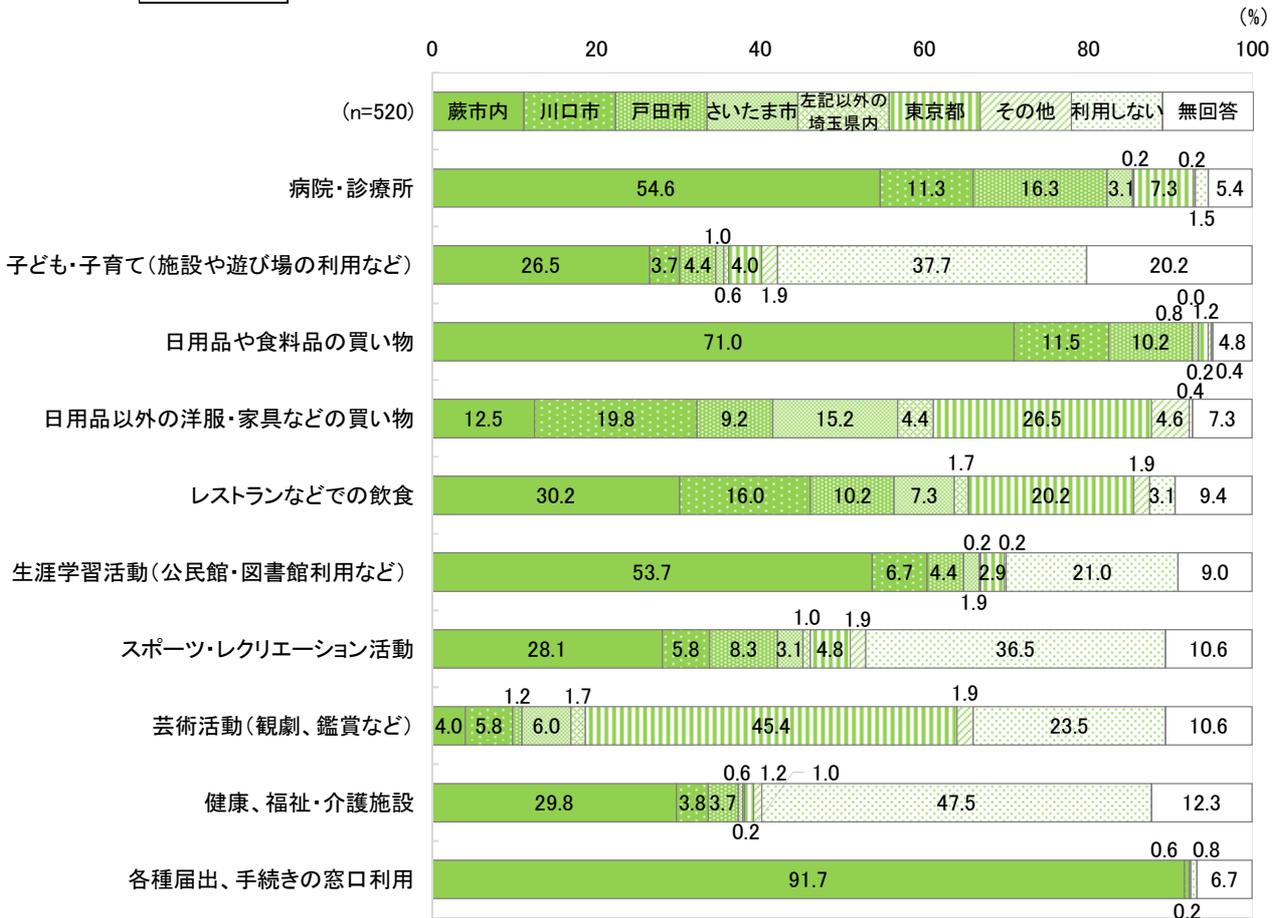


問 19 地域連携

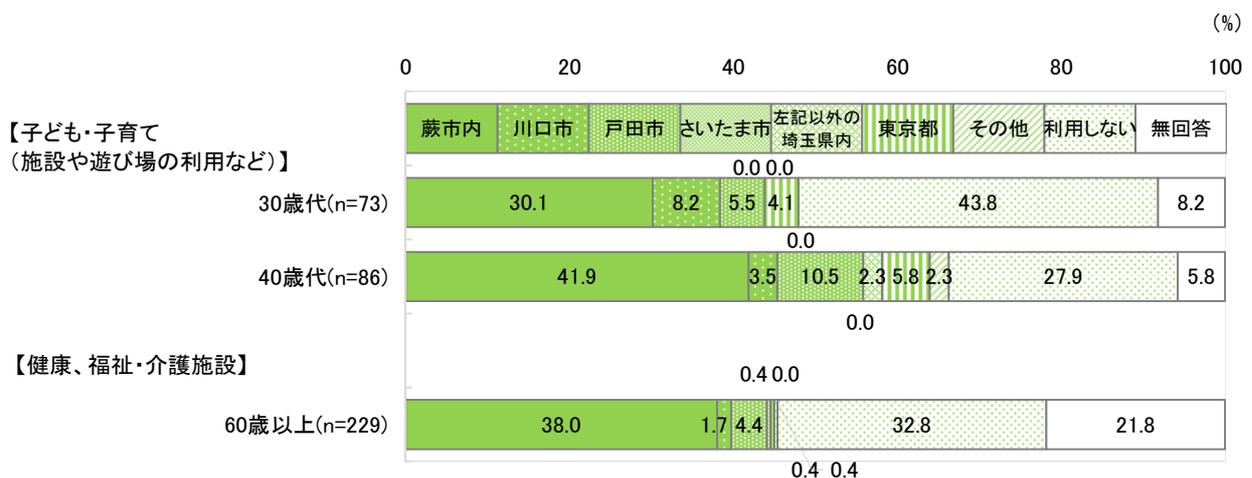


問 20 普段の生活で、病院・診療所、日用品等の買い物、生涯学習活動は、「蕨市内」が半数超え。日用品以外の買い物やレストランでの飲食、芸術活動は、「東京都」が多い傾向。子ども・子育て施設について、30歳代・40歳代の子育て世代は、「蕨市内」が約30~40%。健康・福祉介護施設について、60歳代以上は約40%。

問 20 主な利用先



●上記より抜粋 (年齢別)



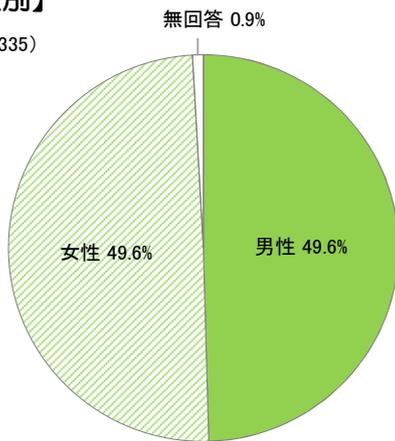
3. 就職・進学状況や定住意向等に関するアンケート

- ◆調査期間 平成 27 年 6 月
- ◆調査対象 16 歳から 22 歳までの市民 1,000 名
- ◆回収数（率） 335 票【有効票 335 票・白票 0 票】（33.5%）

1. あなたご自身について

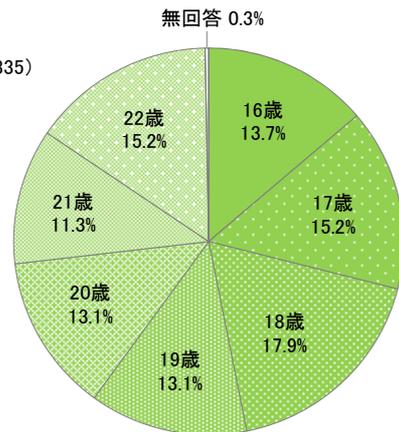
【性別】

(n=335)



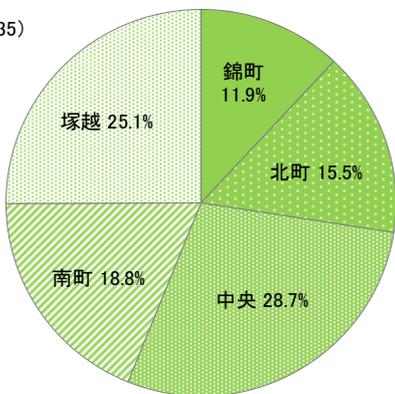
【年齢】

(n=335)



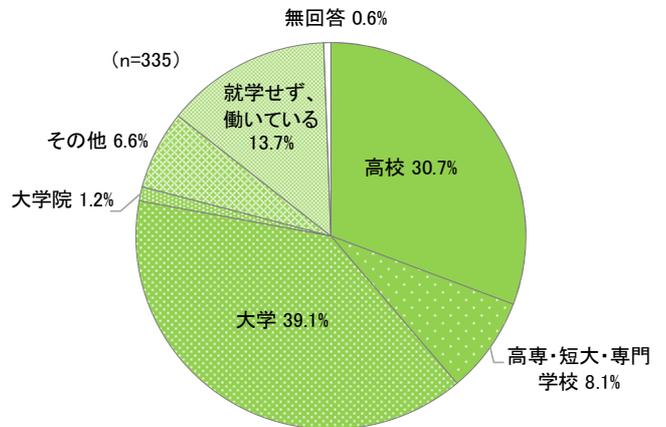
【居住地】

(n=335)



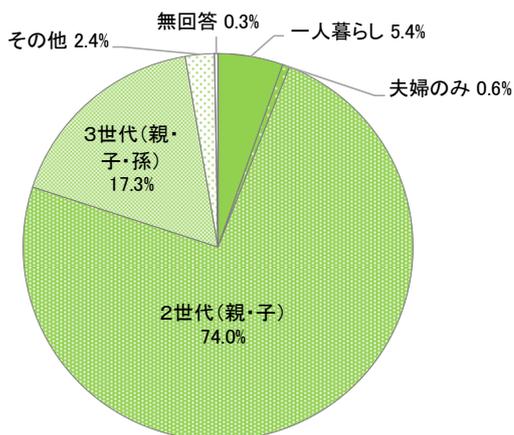
【就学・就職状況】

(n=335)



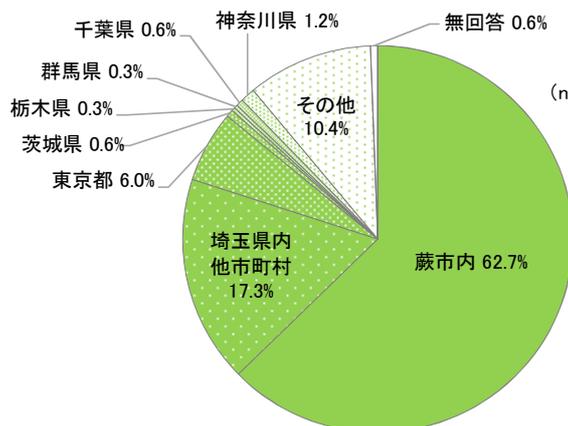
【同居の家族構成】

(n=335)



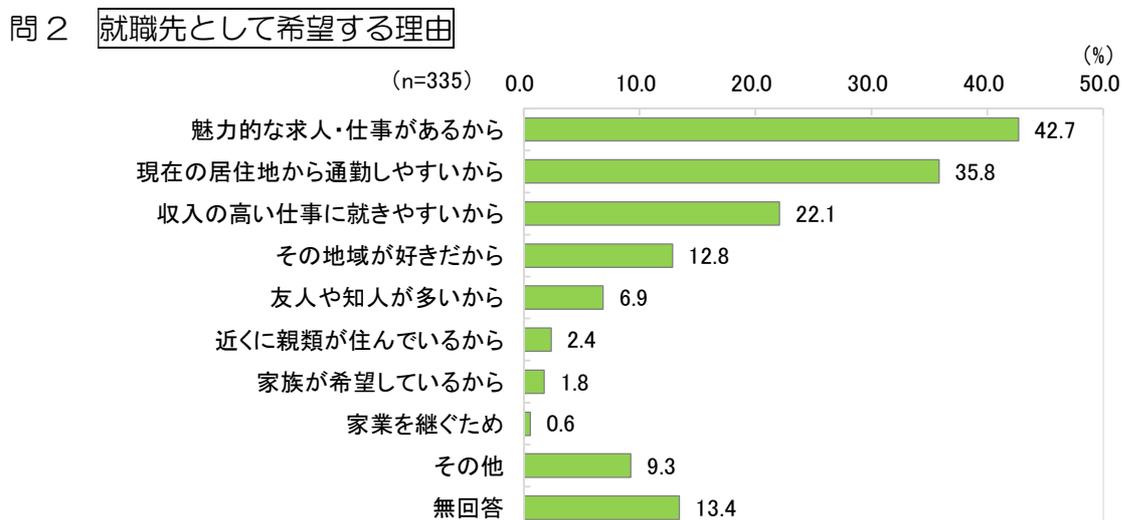
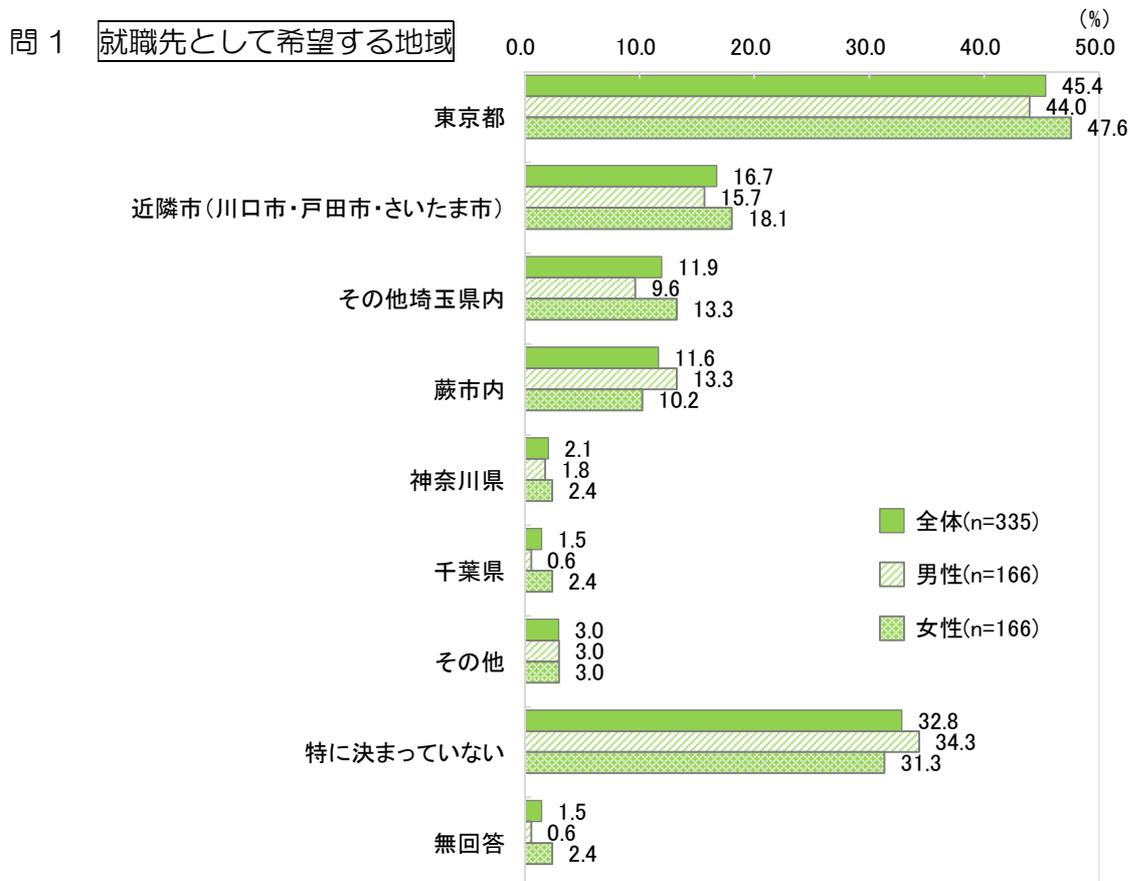
【出身地】

(n=335)

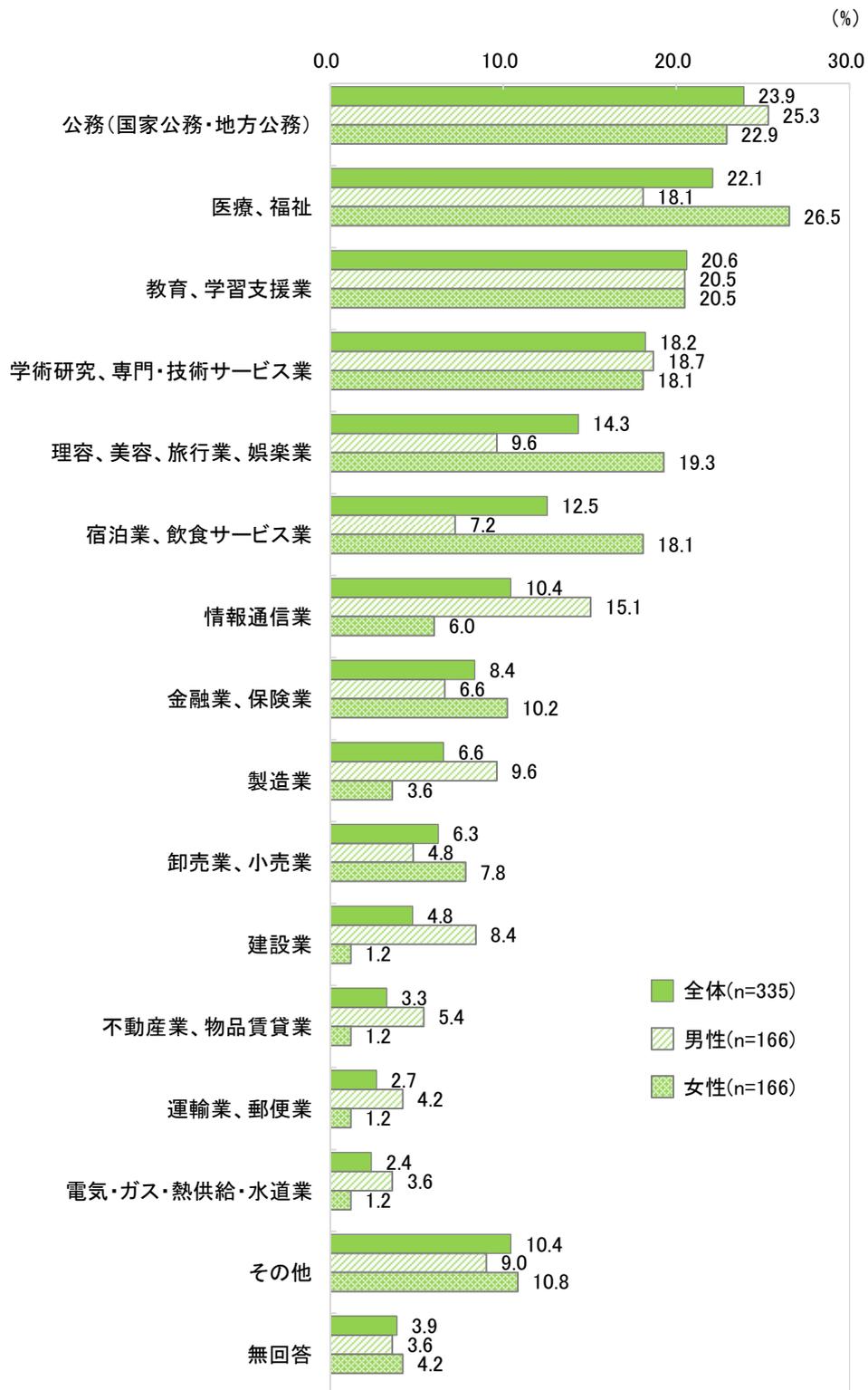


2. 就職・進学について

- 問1 将来の就職希望先は、「東京都」が45.4%、「近隣市」が16.7%で、男女とも同様の傾向。
- 問2 就職希望先として選ぶ理由は、「魅力的な求人・仕事があるから」が42.7%、「通勤しやすいから」が35.8%。
- 問3 就職したい業種は、「公務」「医療、福祉」「教育、学習支援業」がそれぞれ約20%。男性は「情報通信業」、女性は「理容、美容、旅行業、娯楽業」や「宿泊業、飲食サービス業」が多い傾向。

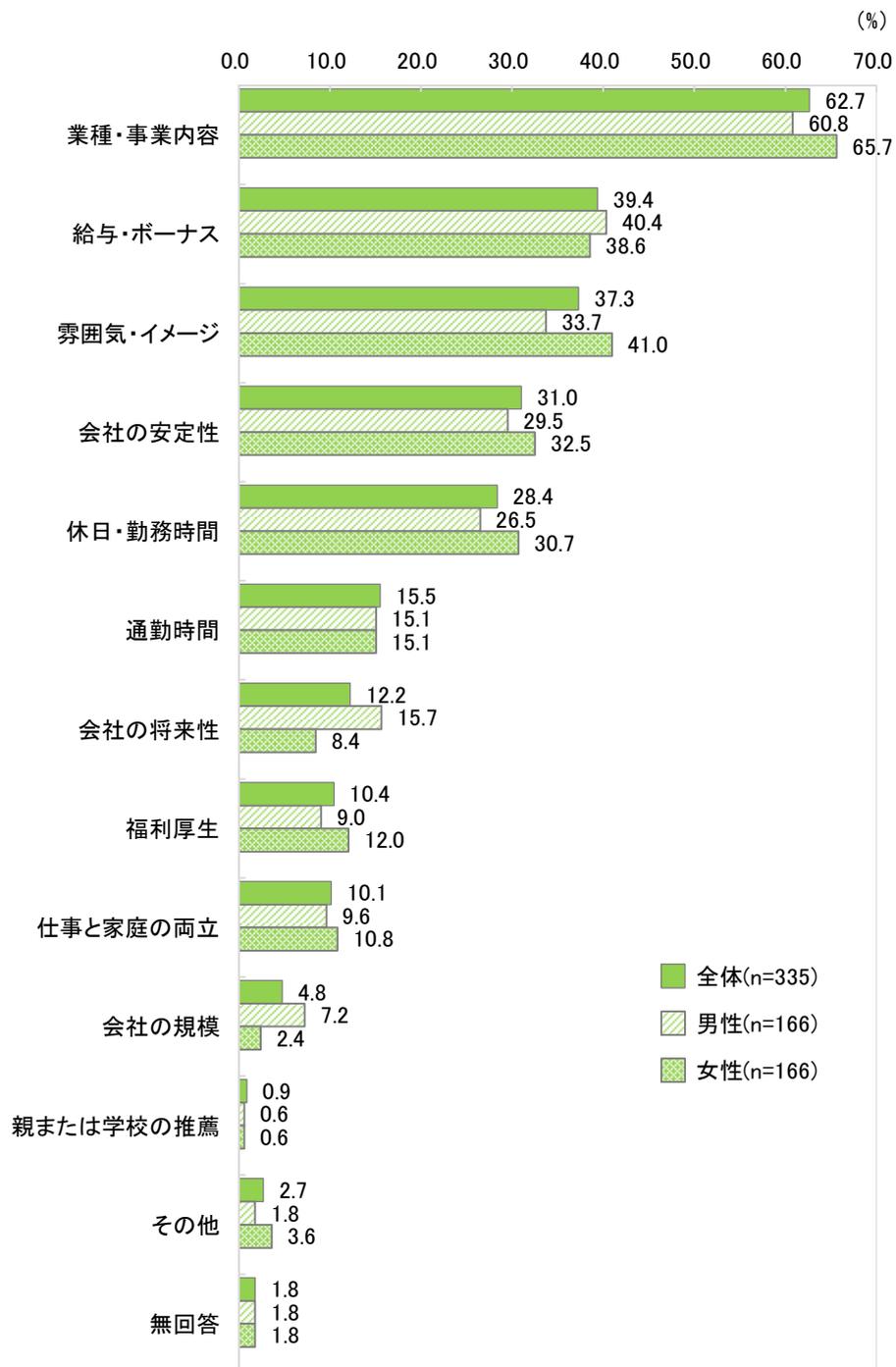


問3 就職したい業種

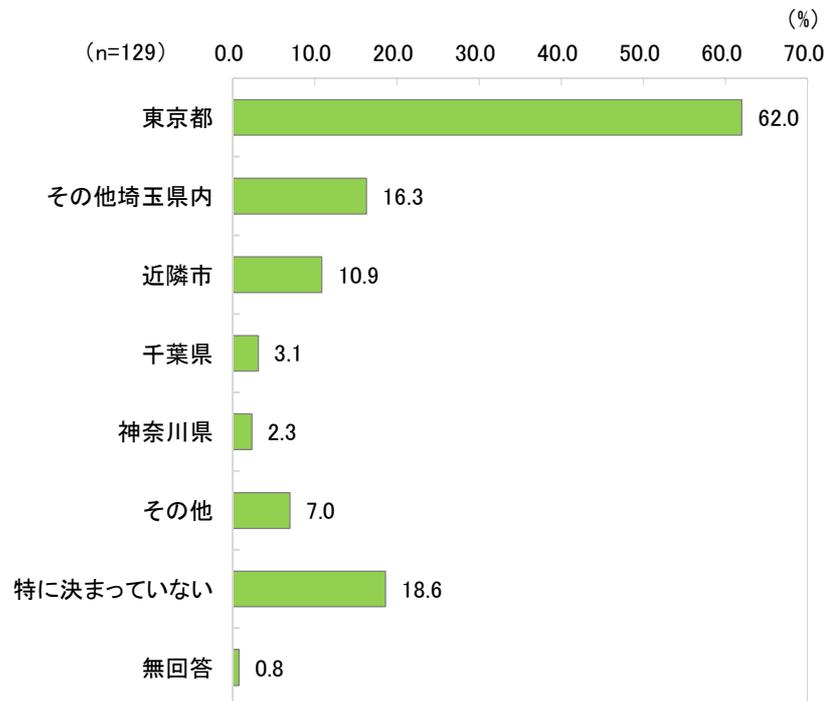


- 問4 就職先を選ぶ条件は、「業種・事業内容」が62.7%、次いで「給与・ボーナス」と「雰囲気・イメージ」が上位。女性の方が「雰囲気・イメージ」をより重視。
- 問5 進学先として希望する地域は、「東京都」が62.0%。
- 問6 その希望理由は、「興味のある学校があるから」が71.3%、「通学しやすいから」が46.5%。

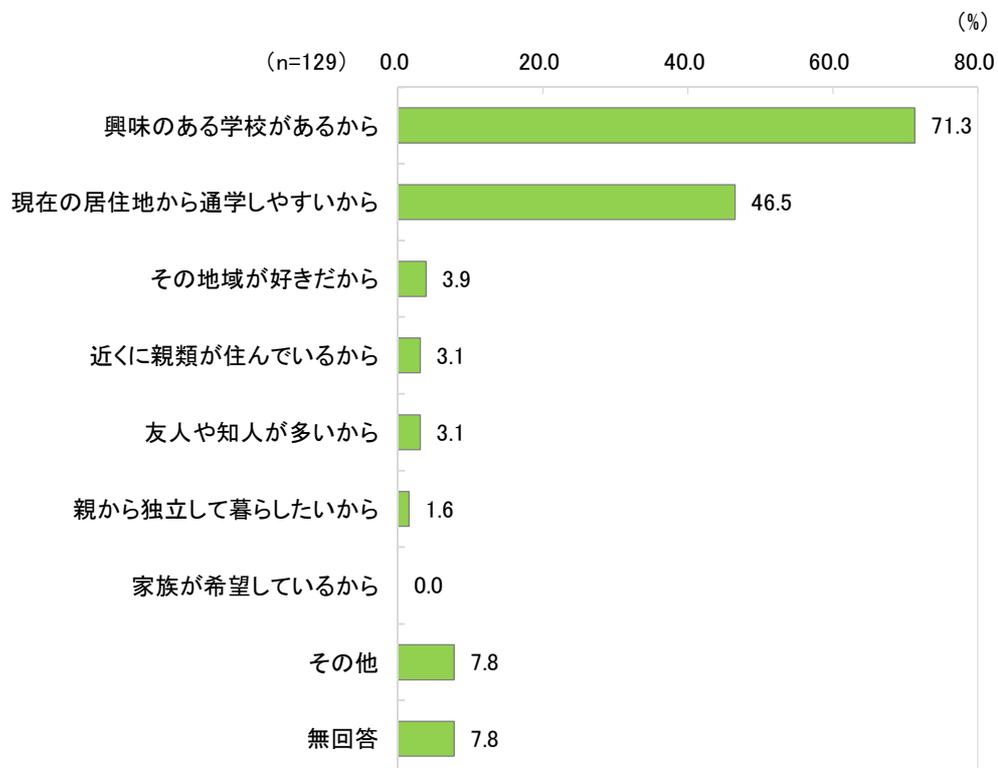
問4 就職先を選ぶ条件



問5 進学先として希望する地域



問6 進学先として希望する理由



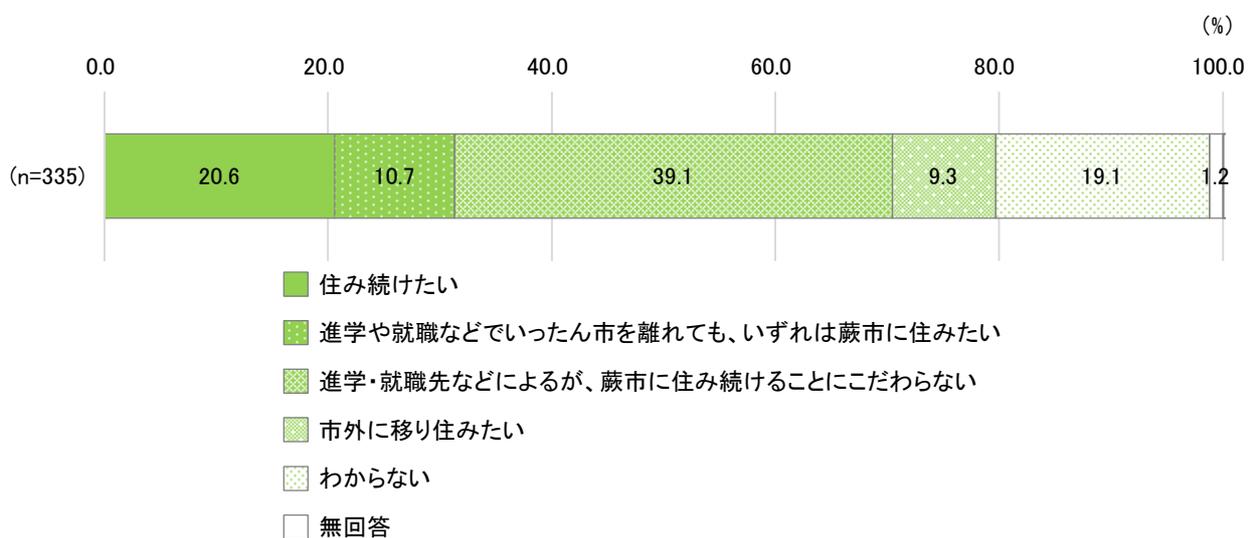
3. 将来の定住意向について

問 7 将来、「蕨市に住み続けることにこだわらない」が39.1%で、「市外に移り住みたい」と合計すると約半数。一方、「住み続けたい」は20.6%で、「いずれは蕨市に住みたい」と合計すると約30%。

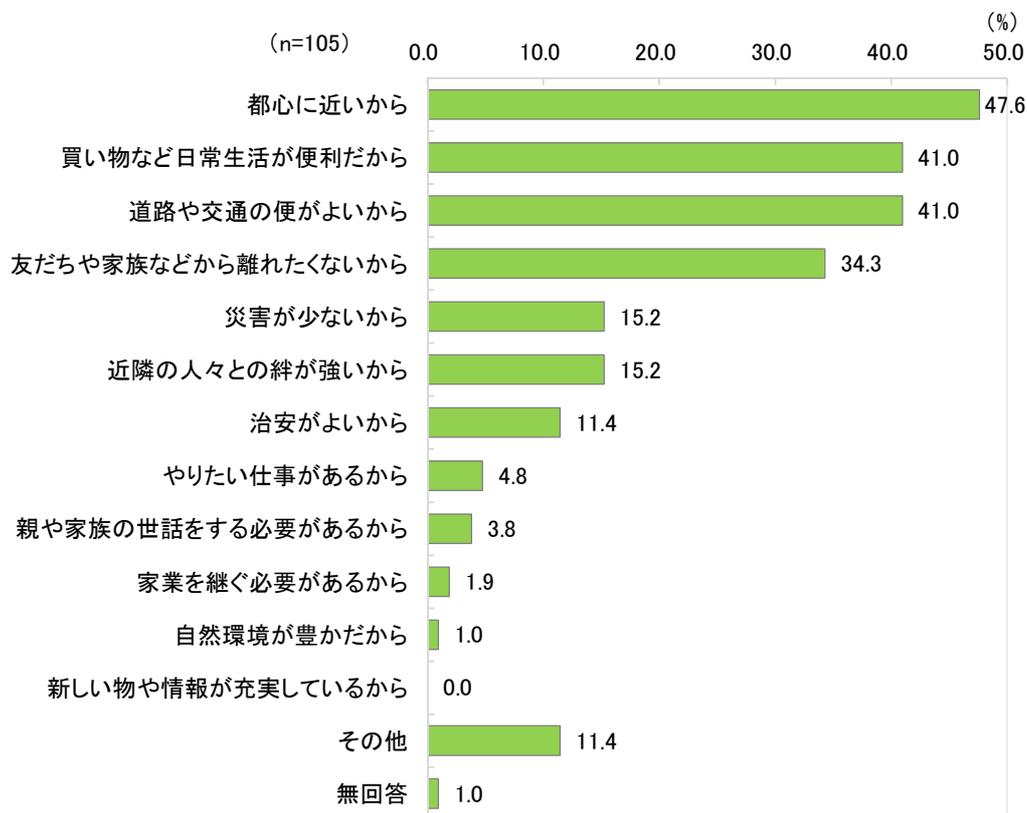
問 8 蕨市に住みたい理由は、「都心に近いから」が約半数で、「買い物」や「交通」の利便性がよいからがそれぞれ41.0%。

問 9 市外に移り住みたい理由は、「広い世界で活躍したいから」が52.5%。「一人暮らしを試みたいから」と「やりたい仕事を選べないから」がそれぞれ約30%。

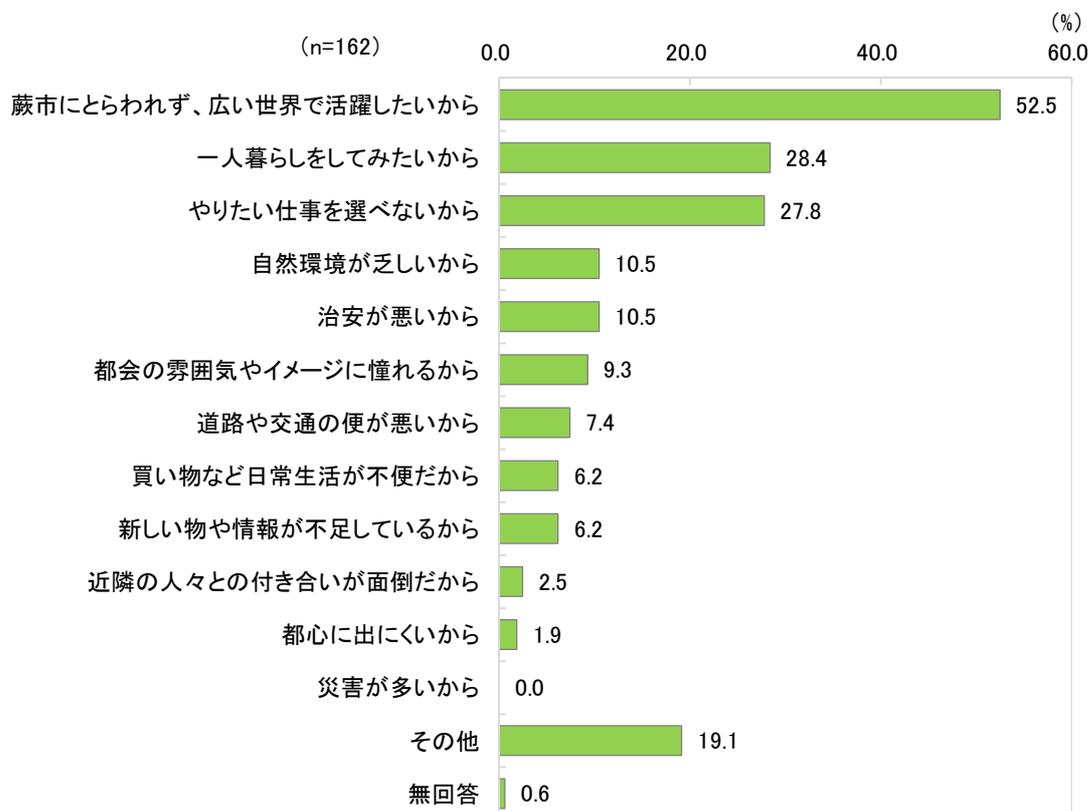
問 7 将来の定住意向



問 8 **住みたい理由**



問 9 **こだわらない・移りたい理由**



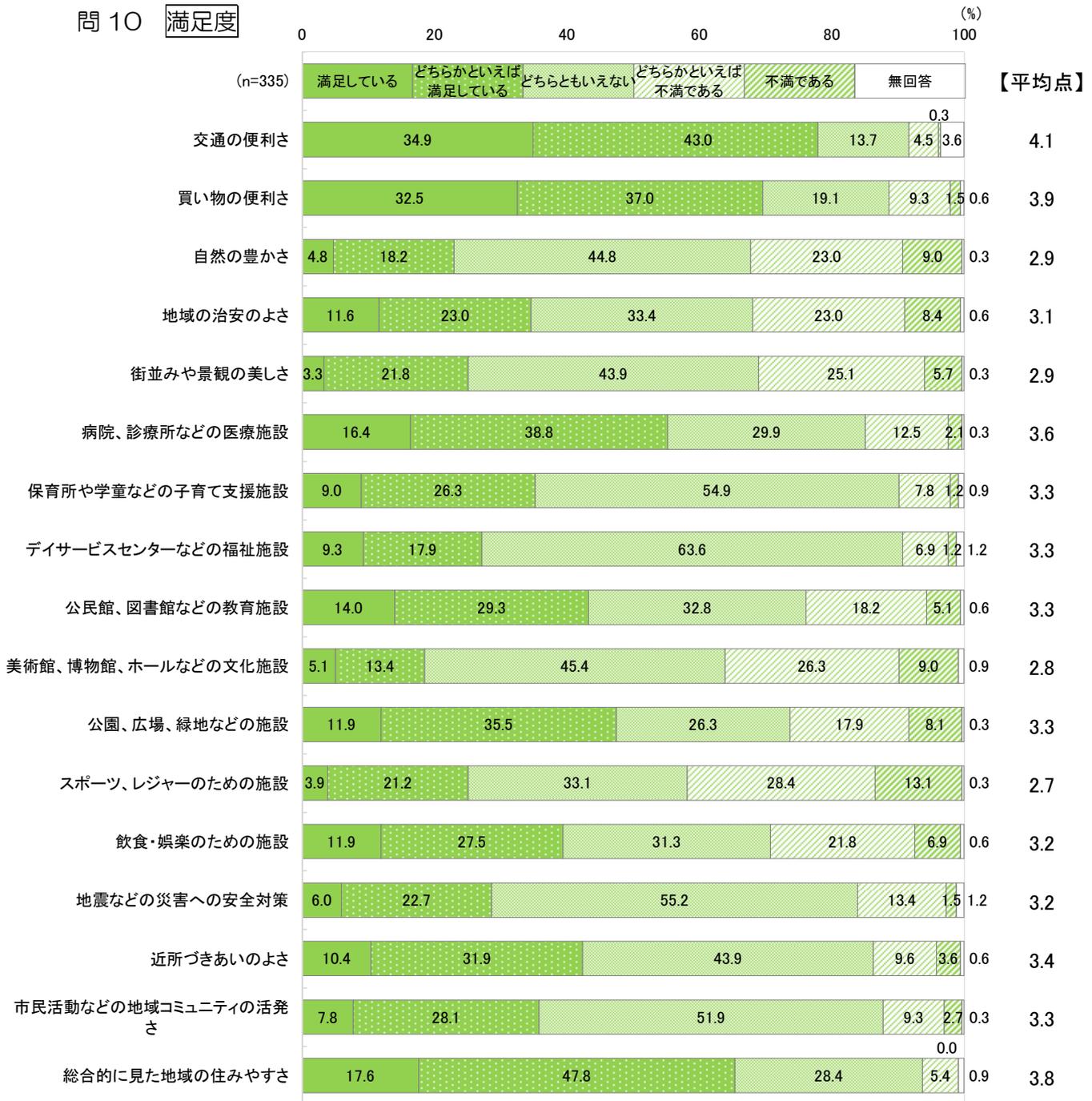
4. 蕨市のまちづくりについて

問 10 普段の生活に対する満足度の平均点は、「交通」「買い物」の満足度が高い一方、「スポーツ、レジャー施設」「文化施設」の満足度は低い。

問 11 人口問題に対して不安を感じているのは61.5%。

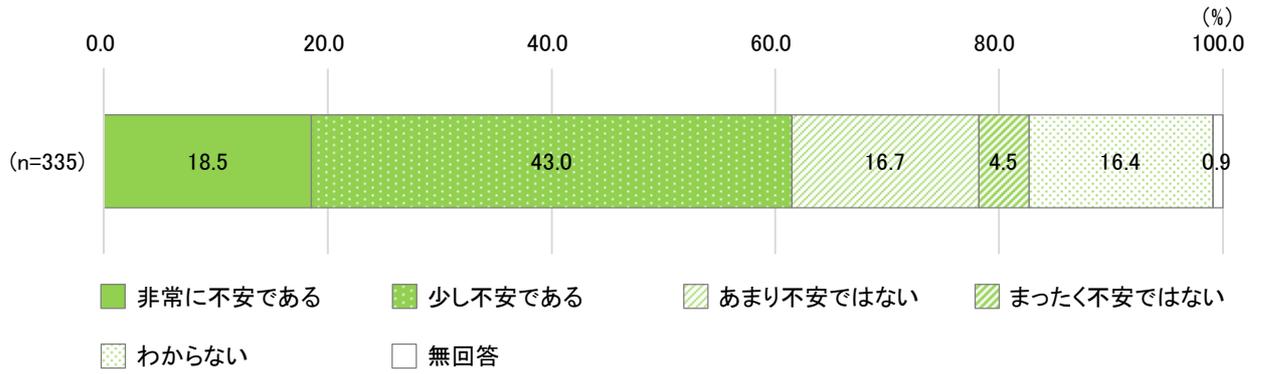
問 12 不安の内容としては、「社会保障制度が立ち行かなくなること」が57.3%。次いで、「地域を支える担い手が不足すること」「福祉サービスが行き届かなくなること」が上位。

問 10 満足度

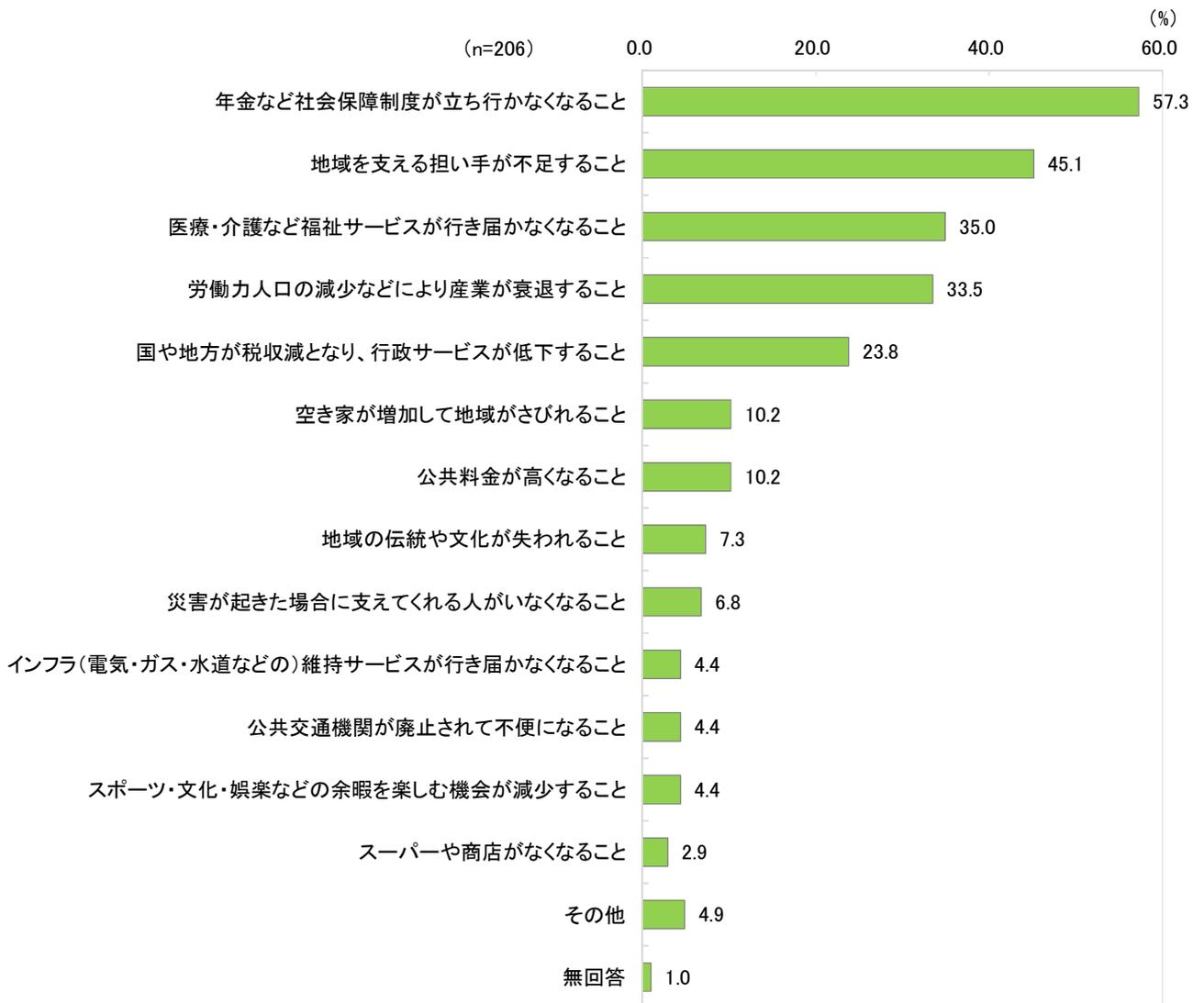


注：満足度の平均点は、「満足している・どちらかといえば満足している・どちらともいえない・どちらかといえば不満である・不満である」の回答数に、「5・4・3・2・1」点を与え、その合計を回答数（無回答を除く）で除して算出。

問 11 人口問題に対する不安

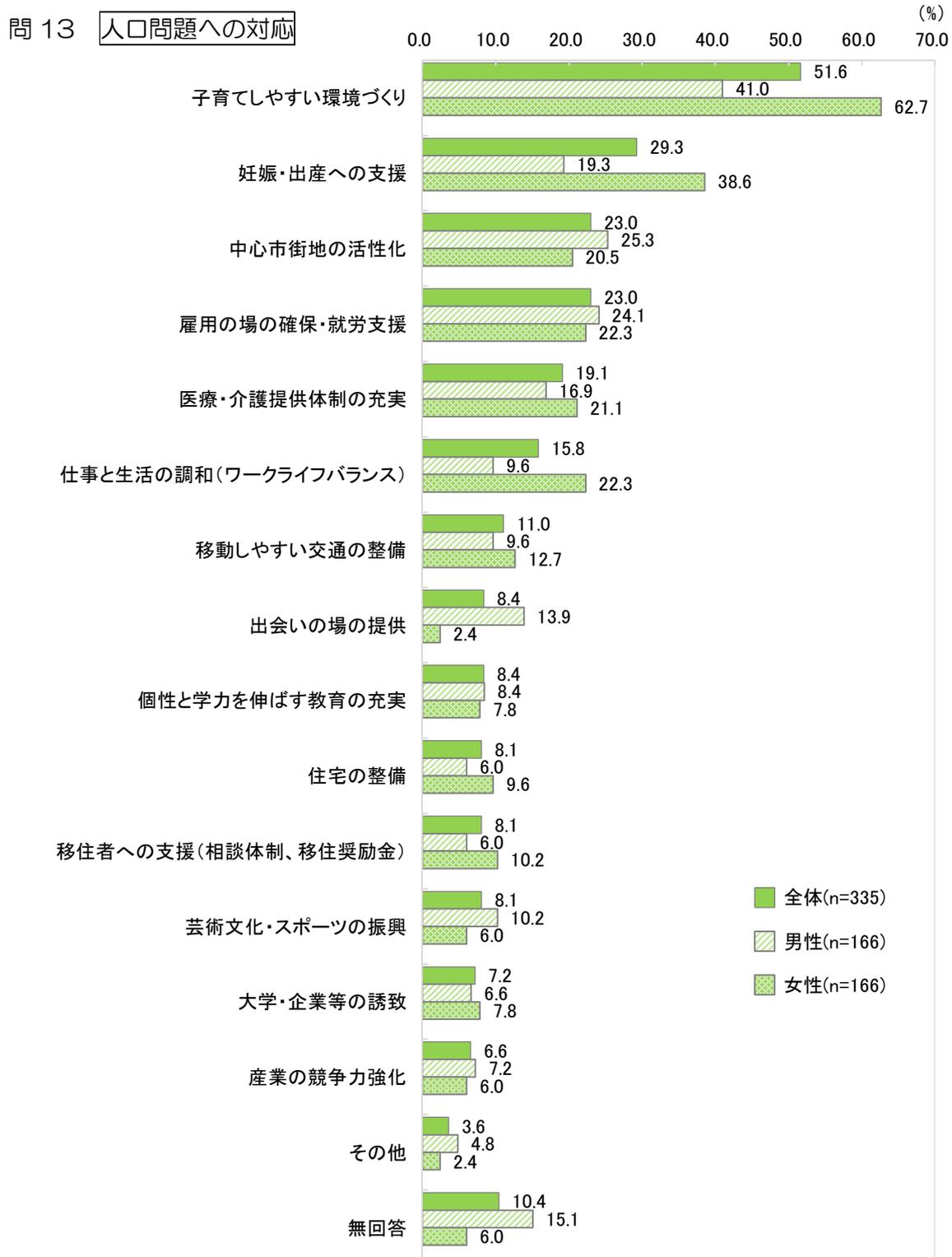


問 12 不安の内容



問 13 人口問題への対応としては、「子育てしやすい環境づくり」が51.6%で、次いで「妊娠・出産への支援」「中心市街地の活性化」「雇用の場の確保・就労支援」が上位。子育て環境や妊娠・出産への支援、仕事と生活の調和については、女性の方が多い傾向。

問 14 若者に選ばれるまちづくりに重要なことは、「働く場」が28.7%、「出産・子育て支援」「買い物・食事」がそれぞれ約20%で上位。男性は「働く場」、女性は「出産・子育て支援」がそれぞれ最も多い。



問 14 若者に選ばれるまちづくり

